

會の事業として稻作の試験を行ひ、桑の試作を爲し、農具の共同購入を爲して、品質の優良と價格を廉ならしむる事に努め、農村經濟を圓滿ならしむる爲め、産業組合を設けて、肥料其他農業上の必需品を購入して之れを組合員に賣却し、稻作の改善を圖り、各地より良種を購入して其收穫を増加せしめ、農家副業として製糸業を奨勵せる等、農村の爲めに盡くせるの功勞甚だ多く、其功績洵に顯著なりとす。

堀内千萬藏君

東筑摩郡鹽尻村

資性温厚にして明治十九年松本中學校を卒業せる以來、意を實業界に注ぎ、農事に精勵し、村治に従ひ全卅一年より全三十六年迄鹽尻村長に就職、全三十三年より全三十九年迄全村農會會長を勤績し、全三十八年より東筑摩郡所得税調査委員となり、全三十六年全郡々會議員に當選、全三十九年より全四十一年迄縣農會へ全郡代表者として出席し、農業改良の普及を圖り、其功勞洵に顯著なりとす。

片倉兼太郎君

諏訪郡川岸村

維新前横濱開港に際し生糸貿易に就き觀察する所あり、大に器械生糸の有望なるを見て、明治十一年に至り川岸村字垣外に工場を創立し、爾來斯業の爲めに盡瘁するところ甚だ多く、明治三十三年諏訪生糸同業組合を組織せるに當りて、大に盡力するところあり、後擧げられて之れが組長となり以て今日に至る。明治三十六年大日本蠶糸會より名譽金牌を受領して其表彰するところとなり、全四十一年には賞勳局より綠綬褒賞を賜はりたり、以て如何に氏の功績の大なるかを知るべし。

土屋省三君

北佐久郡芦田村

明治二十年芦田、横島、三都和の三村聯合して麥料農會を組織するや、選ばれて其會長となり、次て明治三十九年其聯合を解き、各村獨立の農會組織せらるゝに及び、芦田村農會會長に轉じ、爾來連續して今日に至れり。其間絶へず郡農會の幹部に立ち、或は縣農會代表者となり、専心農事改良を鼓吹し、輿論を喚起して以て其實行を

圖り、農業界の重鎮として衆の尊敬するところとなれり。氏の直接經營して實蹟を擧げたるものは、芦田村外二ヶ村組合の麥料乙種農學校の設立及び二化性專用桑園の改良普及並に溜池の設置等にして、其功績實に顯著なりとす。故に明治四十一年十二月大日本農會より名譽賞狀を下賜せられ、表彰せられたり。

林 清 作 君

上水内郡長沼村

氏は弘化三年十月二十六日篤農家長左衛門氏の長男に生れ、長じて父母と共に農蠶に従事す、爾來最も心を蠶種製造につくし、郷人と相謀りて桑園の増殖、養蠶業の奨励に努む、爾來斯業に關係して盡瘁せるもの甚だ多く、明治四十一年四月には上水内郡蠶種同業組合組長に當選し、今日に至れり。其他養蠶業に盡力するの傍ら千曲川船橋架設の爲めには、同志と協力して百方苦心の結果之れを完成し、大に交通を便ならしめ、又長沼學校建築の際には特に盡力するところあり、其功績頗る大にして、各種の賞狀、銀杯等を授與せられたる事甚だ多し。以て氏の功勞の尋常ならざるを知るべし。

樋 田 正 助 君

上高井郡小布施村

氏は少より製糸業に従事し、衆に率先して桑樹の栽培を奨励し、桑苗を盛んに養殖して之れを自村及び近村に配布し、又一方には蠶種を養成して之れを當業者に頒布し、其飼育を奨励し、製糸方法を改良して器械生糸を製し、斯業をして益々盛んならしめんが爲めに有志者を糾合して高線社なるものを組織し、地方の製糸を蒐集して、全社より直接之れを横濱に輸送せしめたり、爾後農家の副業として今日の如く本村養蠶業の隆盛なるは全く氏の力與つて大なるなり。其他蘭蔴の製造及び其蘭苗栽培に盡力し、當地方農商工業者の金融機關として資金拾萬圓を以て銀行を組織し、自ら其頭取の重任に當り、縣會議員、郡會議員、村長、村會議員、所得税調査委員等の要職に就きてはよく其職責を全ふし、村農會副會長としては會長を補佐して農事の改善に盡瘁し、其功績甚大にして、齡既に六拾有餘に及べるも尙鏗鏘として壯者を凌ぐ、實に氏の如きは勤勉以て他の龜鑑たるべきなり。

北原 阿智之助君

下伊那郡上郷村

明治三十八年四月下伊那郡農會評議員に選舉せられ、翌三十九年下伊那郡農友會長となり、全四十一年四月には下伊那郡農會副會長に當選、一意専心農事諸般の改善に盡瘁するところあり、全四十二年には上郷村長に當選し今猶ほ在職中なり。下伊那斯民會の設立には其發起者として専ら盡瘁するところあり、爾後各地に出張して講演講話、以て農民の指導に盡力到らざるなく、地主小作者間の調和を圖らんが爲め、明治四十一年より小作米品評會を開設し、以て其親和を全からしめ、勤儉貯蓄を唱導して、農村の美風養成に努めたる等、其功績枚舉に遑あらず衆の模範たるべきなり。



錦戸景調君



佐藤源三郎君



高橋仲之助君



氏家右衛門君



原與右衛門君

宮 城 縣

佐藤源三郎君

柴田郡大河原町大字大河原

氏は明治廿二年町會議員となりし以來、今日まで其職にありて一意専心農事の改良進歩を圖り、選種、肥料乾燥、養蠶飼育法等は自費を以て之れが獎勵をなし、小作米品評會を開きては米質改善策を講ずる等、斯業に貢献せる功績洵に尠ながらざるなり。

錦戸景訓君

宮城郡七北田村七北田

明治廿五年七北田村農會長に就職し今に至るまで其職にあり。郡農會長、縣會議員、郡會議員、水利組合會議員、郡參事員等に歴任して農事に盡くせるの功績偉大なるものあり。明治四十一年農事改良獎勵及び其實行の成績顯著なるの故を以

宮 城 縣



熱海孫十郎君



岩住友作君



佐藤丈輔君



岩淵長太夫君

て大日本農會總裁宮殿下より其功績を表彰するところとなりたり。

高橋 仲之助 君

黒川郡大松澤村

氏は明治初年以來各種の公職に就かれしが其重なるものを擧ぐれば、大松澤村戸長、黒川郡農會代表者、村長、郡會議員、宮城産牛組合議員、全議長、宮城縣重要農作物調査委員、其他一々枚舉に遑なき程多くの公職に歴任し、其功績見るべきもの尠なからざるなり。

勳八等 菅原與治右衛門 君

加美郡色麻村黒澤

氏は農事の改良進歩に留意する事甚だ厚く、明治三十八年には短冊苗代及び稻の順立乾を實行し、全四十年には推肥の造成、二毛作の成績、苗代跡作及び麥作の増收等の功績によりて郡農會の表彰するところとなり、各種の公職に就きて完全に其職を盡くし、公共團體に金圓を寄附する等特志にして他より賞狀感謝狀等を受

けたる事甚だ多し。

氏 家 作右衛門 君

玉造郡西大崎村下野目

氏は明治三十一年西大崎村農會長に就任せるの外、村長、村會議員等の公職に就かれ、大に公事の爲めに盡くすところあり、農事の改良進歩には最も力をいたせるなり。明治三十九年四月、日露時局當時公事に盡くせるの功績により勳七等青色桐葉章及び金五十圓を下賜せられたり。

岩 住 玄 作 君

遠田郡北浦村北浦字彫堂

氏は夙に農事の改良進歩に留意し、村長、村會議員、郡會議員、農會代表者等の公職に就かれし傍ら、専ら農事に盡瘁し、其功績見るべきもの尠なからず。明治三十六年四月には卅四年度耕地整理模範地を設置し、盡せるの功によりて遠田郡農會より賞狀及び銀杯一組を贈られ、全四十一年十二月、大日本農會總裁宮殿下より農事

改良の獎勵及び實行の功により名譽賞狀を下賜せられたり。

熱海孫十郎君

栗原郡一迫村柳目竹内

氏は縣會議員、栗原郡長、衆議院議員、貴族院議員、郡會議員、郡參事會員等の公職に就かれて令名あり、其他農工銀行頭取、農會副會長等氏の力を農村の爲めにいたせるの功績洵に顯著なるものあり。又公共事業及び變災等に金圓を寄附せる事枚舉に遑あらず、實に氏の如きは他の龜鑑たるべきなり。

岩淵良太夫君

登米郡淺水村

明治三十五年登米郡農會副會長に選ばれ、専ら農事の改良進歩に盡瘁するところあり、養豚業を始め、堆積肥料を製造して其効力の大なるを示し、他を獎勵し、自家小作料米、大麥、大豆等の品評會を自宅に開催して小作人獎勵に努むる事、今日まで十數回、其他公共事業に金圓を寄附し、貧民を救助する等、其特志他の模範たるに足

る、各地開催の品評會共進會等へ自作生産品を出品して受賞せる事甚だ多く、明治四十一年大日本農會より名譽賞狀を授與せられ、表彰するところとなりたり。

矢本平之助君

桃生郡大鹽村大窪

明治廿九年大鹽村會議員に當選せるを始とし、全村長、郡會議員、其他の公職に就きて誠實熱心公務を處理し、甚だ令名あり。一度村長となるや、再三選出せられたるを見ても如何に氏の人望の厚きかを知るべきなり。

佐藤丈輔君

社鹿郡稻井村大字大瓜

氏は縣會議員、村長、村會議員等の公職に就かれて甚だ令名高く、明治卅四年宮城縣農會副會長に選出され、専ら農事の改善進歩に盡瘁す、明治廿七年八月綠綬褒章を下賜せられ、各種の事業等へ金員を寄附せるの故を以て木盃賞狀等を受けたる事實に枚舉に遑あらざるなり。

福
島
縣



和 田 與 作 君



波 部 森 次 郎 君



和 田 甚 内 君



辻 藤 德 彌 君

三
九

福 島 縣

渡 邊 森 次 郎 君

南會津郡田島町

氏は公共心に富み、他に率先衆を勵まし、貯蓄を奨勵し、公共團體に私財を投じ、常に農産業の改良發達に努力す。明治三十六年以來、小作人保護獎勵會なるものを組織し、毎年小作米品評會と同時に小作人總會を開き、肥料貸與の方法を定め、堆肥舎設置者には補助金を與へ、講師を聘して特に小作人の爲めに農業講話會を開き、又仕付米の貸與をなし、小作人の貯金方法を立て、農業獎勵及風紀改善の爲め、幻燈を開催せる等、斯業に貢献せるところ眞に尠なからず、其功績洵に顯著なるの故を以て、明治四十一年十二月大日本農會總裁宮殿下より褒狀の下賜ありたり。

福 島 縣



池 田 長 八 君



宗 像 利 吉 君



山 田 信 義 君



齋 藤 源 藏 君

立子山村農會

伊達郡立子山村

全村は本縣内模範村中に於ても最も優良なるものにして、其施設經營宜しきを得、近郷の欽羨するところとなる、之れ實に本村農會の努力與つて力あるなり。連年農事及蠶業講習會を開き、堆肥小屋の設置を奨励し、馬匹及仔豚の共同購入を幹旋し、鳥蟲野鼠の驅除豫防、短冊苗代鹽水撰、稻正條植等の實行に努力し、稻作及桑園の立毛品評會を開催し、自彊會を開きては蠶業講習生と農事講習生とをして、研鑽の傍ら農會一部の業務を分擔せしめ、老壯交談會を開きては毎年一回老農と、現時の農業者とをして智識を交換し、勞働方法の習得をなさしむる等、要するに事業的方面と精神的方面と兩々相俟て、着々農村經營の成果を擧げん事に盡瘁しつゝあり。其功績洵に偉大なりとす。

遠藤徳彌君

信夫郡庭坂村

氏が居村庭坂村は往時福島、米澤、兩藩間の驛路に當り、人氣稍荒く、風紀宜ろしか

らず、農村として嘆ずべき風習ありしかば、之れが改善を圖らんが爲め、明治三十年十月庭坂公和會なる者を組織し、村民全部を其會員とし、氏は其會長に擧げられ、爾來努力勤勉の結果、農事の進歩、男女風紀の改善等、見るべきもの尠なからず、明治三十七年に至り、本村農會長に就任以來、馬耕、桑園、稻作等の改良、獎勵に努力し、殊に三十八年凶作後漸次稻の早熟を謀り、肥料、選種、挿秧期等の改良を銳意研究し、全村をして、之に倣はしめ、又信夫郡農會副會長、福島縣農會評議員、庭坂報徳信用購買組合理事長等に就職し、農事上に盡くせる諸般の功勞洵に顯著なりとす。仍て明治四十二年十二月大日本農會總裁宮殿下より賞狀を賜はり、其功績を表彰せられたり。

和田與作君

岩瀬郡西袋村

明治二十五年以來率先農事の改良を唱へ、衆の模範となりて、實地指導を怠らず、全年十二月西袋村農會長となり、益々農事の改良普及を圖り、短冊形苗代、正條植、堆肥の改良等専心之が獎勵に努め、郷村及附近舉つて之が指導を受け、又米質の改良、産馬業の發展等に孜々として努力しつゝあり。其功績洵に顯著にして大に推稱

和田 甚内 君

石城郡大浦村

明治二十二年大浦村會議員となり、全二十八年石城郡會議員に選ばれ、全三十五年満期退職後は専ら郡村農會の發展に努力し、現今石城郡農事講習同窓會々頭、福島縣農會評議員等の職にありて盡瘁する事深く、又自ら馬耕を學びて之を郡内に普及せしめ、二毛作を奨勵し、蘭薙を農家副業として紹介し、水利組合議員として水利上に盡力し、又寄附金壹千圓を郡内に募りて、石城郡蠶業講習所設立の基本となし、其他蠶糸同業組合、共同乾燥所の設立、耕地整理の竣工等、氏が幹旋盡力によりて効果を擧げ得たるもの眞に尠なからず。其功勞洵に大なるの故を以て、明治四十年大日本農會總裁宮殿下より褒狀、全四十二年四月には綠白綬有功章を賜はり、大に表彰せられたり。

宗 像 利 吉 君

田村郡大越村

資性温厚着實にして夙に農事に志厚く、明治二十八年縣の農事講習を受け、全窓會幹事、村農會代表者等となり、屢々縣農事試験場、煙草專賣局等より煙草及米麥作試験の委託を受け、指導懇切、且つ良種苗の配布を爲すこと十餘年に及ぶ、又耕地整理の遂行に努め、戰勝紀念桑園の設立、青年會基本金の蓄積等、何れも氏が率先盡力の結果、大に効果を擧げ、有終の美を收め、一郷の子弟、氏を徳とせざるものなし。明治四十一年十二月大日本農會總裁宮殿下より褒狀を賜ひ、全四十二年四月には綠白綬有功章の御下賜ありたり。

齋 藤 源 藏 君

河沼郡新郷村

夙に縣の農事講習所に入りて其講習を受け、熱誠勤勉他の模範たり、官有原野拾四町歩を拂受け、之を開墾して梨樹一千五百本、桃樹六百本を植へ、又陸稻其他の栽培に努む。由來全地方は冬氣嚴寒にして、農産物の貯藏に困難なるを慨し、獨力

を以て開墾地内に深さ五間長さ六拾間の貯藏窖を穿ち、以て従來貯藏最も困難なりし、甘薯及蘭草苗等を安全に越年せしむる事を得る様にし、亦居村に信用組合を組織し、勤儉貯蓄の美風を養成し、農村風紀の改善に盡くしたる所、眞に尠なからず其功績洵に顯著なりとす。

池田長八君

相馬郡眞野村

明治二十八年全三十年の兩期に於て、衆に率先縣の農事講習所に入り、全三十二年縣蠶業講習所の科程を修了し、農蠶業の奨励發達に奔走盡力せるところ、眞に尠なからず、全三十四年自費を投じて村是の調査に着手し、全三十五年宮城縣生出村其他を視察し、二ヶ年を経て村是を確定するに至れり。全三十六年には眞野信用組合を組織し、全四十年之れを信用購買組合となし、創立以來其理事として今日に至り、益々發展の域に達するに至れり。又全三十八年に於ける凶作以來、耕地整理の必要を認め、率先之れを唱導し、有志の同意を得て、四百餘町歩の完成を見るに至れり。其他馬耕、正條植等を奨励し、農事改良の實績を擧ぐる事に努力しつゝあり

氏は現に眞野信用購買組合理事、村農會副會長、耕地整理委員長、中央産業組合、福島支會評議員等の職にありて終始一貫斯界の爲めに努力盡瘁しつゝあり、其事に當りて熱誠勤勉なる、亦罕に見るところなりとす。

剗川久市君

大沼郡川路村

明治十六年より農事に従事し、全二十三年青年會長に擧げられし以來、農事の改良農村の經營並に風紀の改善等に意を注ぎ、専ら青年會を活動せしめ、西奔東走之れが指導の任に當り、其實行を期し、農事の改良、農村の經營方法に就ては、農事講習會を開き、多數の村民をして聴講せしめ、又稻正條植、葉煙草栽培等、率先改良の法を勵行せり。元來本村は山間僻阪の地なれば、村民中祖先傳來の舊法を固守し、現時の状態を鑑みざるもの尠なからざりしが、今や漸く其改善の歩を進め、従來沈衰せる一村も少しく活氣を呈するに至れり。明治三十六年第五回内國勸業博覽會出品參等賞を受けたる外、農産物を出品して賞與せらるゝ事、前後二十回の多きに及び。以て如何に氏の農事に熱誠なるかを知るべきなり。

山田信義君

北會津郡門田村

明治八年より官途に就職し、全十七年村會議員に擧げられし以來、教育に、實業に、交通に、風紀の改善發達に盡瘁する事深く特に農事の改良に志し、縣下各地を跋躡し、延て他府縣に亘り、汎く農事の視察を遂げ、常に他地方の長所を移し、其普及を圖り自ら實行すると共に、専心其誘掖に努めしかば、其感化の及ぶ所實に尠からず、殊に青年風紀の紊亂は農村衰頹する基たるを察し、青年を會合し、自戒の方法を講じ、百方施設をなし、以て最も憂ふべき風紀の頹廢を一掃するに至れり。又農家經濟救濟の一方策として完全なる設備の組合を設立し、氏自ら其衝に當り、又縣農會代表者郡農會幹事を始め、農事講習同窓會幹事及農事試驗擔當員等其他の官公名譽職にありて、盡力するところあり而して現に縣參事會員の榮職にあり。



長尾右平君



佐々木和一郎君



千葉太門君



栗野善知君

岩手縣

四一



國分謙吉君



小山幸左衛門君



江刺家徳太郎君

岩手縣

佐々木 和一郎君

岩手郡太田村大字上太田

岩 手 縣 (147)

氏は岩手郡太田村の素封家として代々農を營み、慈善家を以て知られたり。公共の爲めに私財を投ずるを惜まず、一時家計困難の状態に陥り、加ふるに幼少にして嚴父の死去に遭遇し一家を治むるの人となれり、爾來拮据經營遂に家運を挽回し縣内有數の豪農たり。明治廿三年縣立農事講習所を卒業し、後關東各府縣並びに北海道に遊歴し大に得る所あり、地方に於ける懶惰の陋習を矯正せんとし、副業を奨勵し、且つ冗費を節し、勤勉の氣風を涵養せんとして勤儉貯蓄組合を設け、其貯蓄の金員は種苗の改良、肥料農具等の改善資として低利を以て農民に運用せしめ又小農民及小作人に對しては年々多額の私費を投じ、種苗及肥料資金の無利息貸與等農民の爲めに盡せる所尠ならず。又氏は山林事業に多大の趣味を有し、自ら秋田、長野、愛知、其他の各縣を巡歴して其施設を調査し、大に得る所あり、爾來模範

的山林の經營に従事し、現に地方森林會議員として盡瘁しつゝあり。氏は性温厚篤實品行端正にして衆人の敬愛する所たり、而して農民は決して政黨に關係するものにあらざると信じ、堅く獨立自尊を主義とせり。嘗て岩手郡農會長たりしも今は自ら耕耘に従ひ、熱誠以て農村の繁榮を圖りつゝあり。

松岡機藏君

稗貫郡湯口村上根子

東北の地、氣候温暖ならず、水田二毛作の如き明治初年頃には夢想だもせざりしが、氏は世の進歩に従ひ必ず其必要を見るべきを察し、水田二毛作として大麥及紫雲英の栽培を試み、三十年間種々の困難に遭遇せしも、遂に今日の大成を見るに至れり。即ち居村及隣村なる太田村は特に盛んにして、栽培反別三十四町歩餘、郡内總てにて百八十一町歩餘あり、縣下第一と稱せらるゝ状況にあり。又村内に楮苗數万本を配與して農家の副業を奨勵し、牧場改正委員となり、農業補習學校設立に盡力し、或は三十五年三十八年の凶作に際し、縣下各郡を巡回して之れに處する方を指導する等、終始農事改良に盡瘁し、農村に至大なる利益を與て其功績顯著に

して大に推稱すべきなり。

勳八等 栗野善知君

膽澤郡南都田村

明治三十年五月南都田村名譽助役に當選し、全三十二年八月全村名譽村長に當選、全三十三年五月以來再三擧げられて村農會長の職に居れり。日露の時局に際しては對時局、産業勤儉督勵委員に命ぜられ、日夜督勵の結果、農事の改良より農民貯蓄の成績まで、郡内第一位を占むるに至れるは、全く氏の盡力其宜しきを得たる結果に外ならず。耕地整理法の發布あるや率先して其利の大なるを説き、貳百廿餘町の整理を企圖し、其整理委員となり、萬難を排して其竣工を期し、遂に成功せり。其功勞に依り本縣知事より木杯を贈與せられ、爾來各郡の之れに學びて耕地整理を企つるものに多きをきたせり。明治三十九年大日本農會より功勞賞を授與せられたり。

長尾右平君

西盤井郡山ノ目村

氏は老農として衆望殊に厚く、多年農事改良に力を竭し常に農家を指導し、親しく耕作肥培の良法を授け、作物の良種を栽培して之れを他に分與し、今日郡内に於ける種類の分布は主として氏の手を俟つなり。各地に於ける博覽會、共進會、品評會等の開催あるや進んで之れに出品し必ず賞を得ざると云ふ事なし、以て其精勵技能の他に超えたるあるを證すべし。對時局産業督勵委員の職に就くや、銳意制定事項の實行に努め、村農會副會長としても亦大に活動せられたり。今や全村の發達は郡内農業の先進を以て目せられ、三百餘町歩の耕地整理も特に實施せられたる等は、氏の盡力與つて力ある所なり、實に農家の龜鑑と謂ふべし。

千葉太門君

氣仙郡立根村

氏は明治十九年以來氣仙郡盛製糸組合に、或は立根共同組合に之れが組長或は理事となり、生糸の合同販賣を獎勵し、品質均等のものを生産し、之れを横濱に直輸

國分謙吉君

二戸郡福岡町

し大いに名聲を博せり。又蠶業の振興發達を圖るには、桑樹栽培の一日も忽諸にすべからざるを説き、自ら苗木を培植して廣く郡内の需用に應じて供給せり、又村内を十數區に分ち、荒蕪地を開拓し、共同植付の舉をなさしむる等、斯業に貢獻する所尠なからず、又田地利用上耕地の狹隘なる地には二毛作の必要を説き、自ら之れが耕作に努め、稲作の模範栽培をなし之れが改良發達を講ぜり。其他從來本郡にては肥料として刈敷を施用するの習慣なりしも、氏は此の肥料の効能遅緩にして稲の成熟期を遅くするの不利あるのみならず、又林業の發達を阻害するの大なるを慨し、斷然之れを廢し、代ふるに堆積肥料を以てし、自ら之れを施用して其獎勵に勉めたり。其功績大なるを以て、明治四十一年大日本農會より功勞賞を授與せられたり。

氏は町内有數の資産家にして、父兄常に農桑に留意せしより、農桑上の藏書多く日々之れを讀み、其少年時代に於て早くも農業に興味を有し、學理及實地に研鑽を

怠らず以て今日に至れり。明治廿七年福岡町字城の内所有畑一反歩を以て穀菽蔬菜の試作をなし、爾來今日に至りて漸次其規模を擴張するに至れり、試験の種目は普通作物、園藝作物、特用作物の一般に亘り、毎年成績によりて其良種と決定せるものを郡内及其他に無代配布を爲し、特に麥類豆類には良種を出せり。明治卅一年夏季浮塵子の發生するや大いに其驅除豫防に努め、農民智識の涵養を圖らん爲めに、農業補習教育の必要を唱導して其施設を見るに至れり。其他養雞豚を奨勵し、大豆其他の良種發見の爲めに自ら各地を旅行視察し、小作者奨勵の方法を設くる等、氏の犠牲的指導改良によりて地方農産上に裨益を與へたる事實に枚舉に遑あらず、其功勞洵に顯著なるものとす。

小山 幸右衛門君

東磐井郡大原町

氏は明治二十五年岩手縣立農事講習所を卒業後、農事試験の必要を感じ、自家農園を利用し、普通作物並園藝作物數十種の試験を實行すること數年、傍ら岩手縣立講習所の囑託を受け、各種作物の試験をなし、這般の成績は岩手勸業報告並農業雜

誌上に廣く發表をなしたり。明治廿七年郷里青年の爲めに下内野農園を組織し推されて其園長となり、農事改良上の研究及び貯蓄の奨励に盡瘁す。明治廿九年岩手縣農事講習所教師に任命せられ、後磐井郡農事試験場長に轉じ、全卅四年縣立農事試験所技手に就任し、精勵刻苦各種の試験に従事しつつあり。氏が研究中の主なるものは不順の氣候に堪ゆる稻種の研究、寒地に於ける田の二毛作、園藝作物の新種育成、東北の休閒苗代問題、水田に於ける磷酸肥料の施用法、稻螟虫驅除新法、東北に於ける畑の三毛作等にして其結果は既に一般に發表せられたり。明治卅八年以來果樹栽培者と圖り、岩手縣果樹會を起し、推されて其副會長となり、全卅九年岩手家禽協會を組織し、其役員に擧げられ、公務の餘暇を以て斯業の發展に盡瘁しつつあり。其他全卅年以來各地の品評會並に共進會等の開催に際し、審査長及審査官として之れに臨む事五十餘回の多きに及べり、氏は性篤實事に當りて熱誠指導其宜しきに適ふを以て、永く其職にありて衆人の信頼を受けつつあり、眞に農家の龜鑑として賞讃すべきなり。

江、刺家徳太郎君

九戸郡輕米村

明治廿七年岩手縣農事講習所卒業後専ら實地研究を行ひつゝありしが、卅一年西磐井郡農事試験場に奉職せしを始めとし、一時全縣稗貫郡大迫煙草專賣所に轉じ、卅二年再び西磐井郡に職を奉じ、全郡農事試験場長を命ぜられたり、而して全場廢止後全郡農事巡回教師、農業技手となり以て今日に至る。氏は本郡へ就職以來農閑を利用し農事講習會を開催し、其修得生四百餘名を出し、此等を團結せしめ農友會を組織し、互に一致協力して本郡農事の改良を圖りたるに、會員の熱誠は逐年舊慣を改め作物の耕種、肥培の改良普及をなし、特に馬耕の普及發達に力を注ぎし事十餘年間、馬耕競犂會を開催する事十一回に及び、現今に於ては一回盛況に赴くの有様となれり。又郡農會幹事として町村農會の斡旋をなし、立毛品評會の舉行を翼け、六ヶ所の耕地整理を遂行せしめ、其整理反別六百九十町歩に及び、縣内斯業獎勵の範を示すに至れり。其他産業組合の設立等氏の盡力によりて農事其他の改良進歩を促したる事尠ならず、故に本縣知事より表彰狀、金員等を贈與せられし事一再にして止まらず、實に氏の如きは以て他の範となすに足るべきなり。

菊池直三郎君

江刺郡稻瀬村

夙に農事改良の必要を唱導し、先進地方を巡歴して産業上の調査をなし、之れが研究に勉め濕田の改良、耕地整理、馬耕の實施、二毛作の栽培、鹽水選、堆肥の製造等に熱心盡力し、自ら之れを實施して當業者を誘導し、其普及に努めしに其効頗る顯著なりし、就中鹽水選の如きは毎戸之れを實施するに至れり。又苹果栽培に關しては先づ其有利好適なるを唱導し、自ら青森地方を視察して其栽培法を調査し、苗木を購入して率先自園に栽植し、之れが獎勵に努めたるの結果、年々其産額を増加し郡内首位の栽培地となるに至れり。明治四十一年大日本農會より其功績を賞せられ、功勞賞を授與せられたり。

小田嶋五郎君

二戸郡淨法寺村

氏の家は地方の素封家にして能く農事の改善に盡瘁し、目下淨法寺村農會長の職にあり、且つ地方の青年を誘掖して青年農會を設立し、農家風紀の矯正に努め夜

學會を起し、試作地を設けて改良法の普及を圖り、種苗并に種卵の配付をなしたるの結果、養雞事業盛に行はれ、又鹽水選の如きは自ら各部落に出張して實地指導をなし、普く施行せしむるに至れり。其他小作農の優遇に意を注ぎ、小作米品評會を開催する事數次、且つ凶作善後策として大いに馬齡薯の栽培を奨勵し、昨年以降馬齡薯品評會を開く等、實に地主の好模範として賞揚するに足る。

青 森 縣



外 崎 嘉 七 君



齋 藤 重 弘 君



相 良 貞 一 君



楠 美 冬 次 郎 君

四五

青 森 縣

齋藤重弘君

西津輕郡川除村大字川除

資性温厚、謹直にして寡言、公共心に富み、特に農事上に盡せる効果尠しとせず、氏は夙に地方の農業幼稚にして改良を要すべきもの多々あるを深く感じ、一生を斯業に捧げ終らん事を決心せり、即ち自己の既に有利と認めたるものは、必ず他に普及するを以て自らの義務とし、以て之れを實行し、模範を他に示すを常とせり。其他稻作果樹、蔬菜、良種苗等の普及に勉めたる事十年一日の如く、爲めに明治三十一年本縣知事より木盃を下賜せられ、全三十九年十一月本縣農會長より有功銀章を贈與せられたり。



田 澤 周 助 君



工 藤 敏 郎 君



佐 々 木 弘 造 君



菊 池 橋 衛 君

楠美冬次郎君

中津輕郡清水村大字富田

資性温良にして品行方正、夙に産業に志し、明治十三年清水村富田に於て初めて葡萄及林檎園を開き、全二十四年更に清水村大字小澤地内に林檎園を開設したり。其後大いに林檎園及林檎苗圃を増設し、販路の擴張に勉め、或は害虫の豫防驅除に盡力し、以て範を地方に示す等、斯業の進歩發達に資せるもの尠しとせず、今や林檎業者の先輩として縣下同業者の推重する所となれり。明治二十三年内國勸業博覽會より有功二等賞を授與せられたるを初とし、大日本農會品評會共進會其他に於て賞牌、賞盃等を授與せられたる事數回あり。氏の如きは林檎栽培の率先者として縣下生産増殖に寄與せる功績實に偉大なりと謂ふべし。

外崎嘉七君

中津輕郡清水村大字富田

資性敏達にして品行方正、夙に勸業に志し、明治十三年以來専ら力を苹果の栽培に盡し、多年實地研究を重ね、又一面に其販路を廣め、且つ毎年二回自ら縣下の栽培状況を巡視し、力めて其指導獎勵に努めつゝあり、近年縣下栽培反別の著しく増加し、産額數十萬圓に上り、益々斯業の隆盛を見るに至りしは、氏の功績與つて力ありと云ふべし。明治四十一年九月東宮殿下東北行啓の際には、特に氏が果樹園に鶴駕を枉げさせられ無前の光榮に浴せり、以て氏が斯業に盡瘁せるの如何を知るに足る、眞に農業者の模範と云ふべし。

相馬貞一君

南津輕郡竹館村大字唐竹

資性温厚篤實にして夙に早稻田専門學校に學び、明治二十一年苹果園を開き、探美園と名け、漸時其の規模を擴張し、現今地方模範園を以て稱せられ、爾來二十有餘年間、具さに栽培摘果、土壌并びに施肥等の實驗を嘗め、一面には害虫の驅除豫防等に精勵研究し、以て辛苦經營大いに好成績を挙げたり。後ち無限責任竹館林檎生産購買販賣組合を設立し、販路を各地に擴張し、全時に其聲價を高めたり。其他教育事業及び殖林等にも意を注ぎ、新たに二十町餘の造林を實行したる等、一意専心公共事業に盡瘁すること多年一日の如し。故に縣農會より彰功銀章、大日本農會

より功績状其他を受領せり、真に模範農業者と謂ふべきなり。

田澤 周助君

田舎館村大字諏訪堂

資性温厚篤實にして多年力を農事の改良に盡し、其効果又賞するに足るものあり、氏は屢々自費を投じて縣外の視察を遂げ、之れを地方へ傳へ或は稻作に、或は馬鈴薯の栽培に奨励を加へ、或は苹果の栽培を指導し、又明治三十九年には田舎館信用組合を發起して之れが任に當り、其の地方に於ける小中農家に生産の資を供給し、經濟の圓滿を計り、又縣下に率先して同年四月同志と相企畫せる七十町歩餘の耕地整理の竣成を見るに至れる等、範を他に示して斯業の發達に助けたるの功實に顯著なりとす。爲めに明治三十九年十二月本縣農會長より彰功銀章を贈與せられたり。

佐々木 弘造君

北津輕郡七和村大字俵元

夙に地方の開拓に志し、明治廿八年以來専ら縣下北郡田名部村大字近川附近に於ける荒野四百二十三町九反五畝十一歩の地をトし、多年辛苦經營の結果移住者二十五戸、水田四十一町歩、畑地三十九町歩其他溜池、防風林、東宮殿下御慶事紀念松林、牧場、宅地等を拓き尙將來田圃となるべきもの尠からず。其他兒童教育事業、神社の建立、移民安撫の法等に盡せる事多く、十數年間戸長、村長の職に任じ常に誠意を以て村治の整理に當りし等、其功績洵に顯著なりとす。

勳六等工 藤 徹郎君

上北郡七戸町

氏は夙に開懇に志し、幼より嚴父の經營を助けて之れに従事せり。其業を起すや刻苦勵精幾多の辛酸を嘗め、始んど四十餘年一日の如く、遂に今日の大成を見るに至れり。疏水路の延長、溜池、水田、畑反地、防風林其他諸種の建物等氏の力によりて効果を收めしもの枚舉に遑あらず、而して此等凡ての事業に投じたる費用は他

の力を藉らず、總て自己の支辨と爲し、其額八萬有餘圓の巨額に達せり。而して其企劃監督等の事は自ら之れに當り、未だ嘗て之れを他人に委囑したる事無く、拮据經營切に素志の貫徹を期せり。明治三十五年以來引續きての凶作に大打撃を蒙り頗る困難を極めしも、銳意移住者を督勵して農耕を獎勵し、一面には多くの資力を注ぎ、爾來既墾地の增收を圖り、之れが耕耘肥培に努めつゝあり。明治二十七年其の功を賞せられ、藍綬褒章及び銀盃を賜はり、全三十五年二月勳六等に叙せられ瑞寶章を授けられ、同年八月大日本農會總裁宮殿下より綠白綬有功章を授與せらる、其他賞牌褒狀等を贈與せられし事多し。實に氏の如きは以て後世の龜鑑となすに足るべきなり。

盛田 嘉兵衛治君

上北郡七戸町字七戸

資性溫厚篤實夙に農事改良に腐心し、其の伸張を圖るには地主と小作人との共同一致の必要を認め、明治四十一年三月自ら盛田家農會を組織し、又次て五月保證責任盛田家小作人信用組合を設立し自ら其の長となり、農業及經濟の改良發達を

圖んが爲め、毎年小作人を集め小作品評會を開き、地方從來の作付法と改良法との比較優劣を示して、優者には相當の賞品を與ふる等の獎勵を爲し、又特に當郡は畑作反別の多きより畑作の改良に重きを置き、全家農會に於て教師を雇入れ年々改良を獎勵しつゝあり。自作畑反別拾九町三反歩、小作畑反別二百五十町餘、作付戸數二百七十三名の多きを致し、又一面には勤儉貯蓄の増進を圖らんが爲め盛田家小作人信用組合に依り、着々其効果を奏し、單り小作人のみならず、地方農民に裨益を與へつゝある事顯著なるを認め、眞に地主の模範と謂ふべし。

三 浦 重 吉君

三戸郡五戸村

資性溫厚謙遜にして能く力を農事に注ぎ、明治十年以來諸種の公職に従事し、全三十九年私費を以て稲作試験田を設置し、耕作法改良研究を爲し、又蠶業獎勵に努め桑園を拓き、養蠶模範所を設け飼育の普及を圖り、特に批難ある耕地整理を行ひて範を地方に示し、本縣斯業の獎勵を助けたる等農事上に於ける功績實に顯著なりとす。故に明治三十九年青森縣農會長より表彰金章を授與せられたり。

菊地 楯衛君

弘前市大字代官町

氏は舊津輕藩士にして幼少より氣慨あり、明治成長の際國事を論じ、藩の重役に意見を述べ、大に士氣を鼓舞する所ありしが、廢藩置縣の當時より卒先身を稼穡に投じ、自ら園圃を開拓して汎く内外の種苗を輸入し、以て之れが實地試験をなし、其適否を考究し、地方に適するものは一般に之れを分與して誘掖指導に至らざるなく、地方農事に貢献せること多大なり。明治十年同業者と相圖り、津輕産業會と稱する團體を組織し、爾來卅年間之れが重役の任に當り、熱心發展策を講じ、又同會の一事業たる物産品評會を開會して回を重ねる二十二回に及べり。而して一の報酬を受くる事なく、眞に献心的に同會の隆盛に努めしなり。東北の名産たる苹果の如き、明治八年氏の卒先本縣に移植したるの結果、今日の盛況を見るに至りしなり。其他有益なる農産業を地方に普及せしめ、實績を擧げたるもの數ふるに遑あらず。明治廿六年岡山縣に至り、蘭蕙業の盛況を目撃し、之れが苗を持ち歸り、試植の結果良好にして本縣現今の壘表花蕙の産出を見るに至れり。其事に當るや一意専心以て其發達普及に日夜孜々精勵す、爲めに地方殖産上裨益する所多大にして、其功

勞顯著なり、故に明治三十九年第五回奥羽五縣聯合共進會に於て功勞賞を授與せられ、又大日本農會よりは綠白綬有功章を授與せられたり。

山
形
縣



小松久吉君



十五嵐綱次郎君



掘熊太郎君



小川又次郎君

四
七

山形縣

五十嵐 彌次郎君

東村山郡金井村大字江俣

氏は資性温厚篤實、家世々、農を以て業とし、夙に農事改良に志厚く、博く他に教を求めて之れを孜孜として實地に研鑽せるの結果、得る所尠しとせず、數年以前居村
 村長となりて以來、益々農事の改善に盡瘁す、即ち日露戰役紀念事業として明治卅
 八年江俣農友會を創設し、農事の改良を圖り、農民の肥料共同購入、土地買入、養蠶等
 に要する資金を低利にて貸付け、冬季間地方男子の副業として新式縫織機十六臺
 を購入し、會員に配布し、其製作を奨勵し、試作田を設け、肥料及び耕種方法に就き實
 地に試験し、一般の参考となし、又地方を視察し、品評會を開催して自村の爲めに圖
 り、貯金を奨勵して農民の資金を裕かならしむる等、氏の誘掖指導によりて効果を
 擧げたるもの、枚擧に遑あらず、實に其の功績に於て亦其人格に於て優に他の模範
 とすべきなり。

山形縣



君 郎 次 吉 藤 三 佐



君 郎 三 清 藤 佐



君 門 衛 右 五 久 野 紺

小川又次郎君

西田川郡東郷村大字青山

氏は温厚篤實にして氣概あり、夙に農事の改良に志し、稻作栽培法を研究し、庄内地方の一面濕田にして耕作に畜力器械力を利用する事能はざると、米質劣等にして收量少きを慨し、明治廿三年より乾田法を施行し自ら試作田を設け多額の費用を投じて畜力器械力を應用して耕作に従事し、結果の利あるを衆に示せり。爾來漸く其利を知る者出て、明治卅二年に至り、東郷村全部を乾田に改めたり、之れと同時に馬耕の普及を圖らんとし、村農會と謀りて耕馬七頭を購入し、馬耕傳習會を開き實地に指導すると同時に、其耕馬を貸與し、其普及に全力を傾注せり、又稻田整理に盡力して收穫を多からしめ、灌漑水の便を圖り、明治廿九年東郷村農會長に當選して肥料共同購入を奨勵し、堆肥品評會を開催して購入肥料の節約を圖り、稻作品評會を開きて米質の改良及增收を圖り、其他教育衛生等氏の盡瘁により村治大いに舉り、郡内模範村の一たるに至れり、實に氏の如きは農家の龜鑑たるべきなり。

小松久吉君

東置賜郡中川村大字小岩澤

氏は殖産に志を傾注し、地方農家蠶業の幼稚なるを深く憂ひ、自ら主催となりて農事講習會を開設し、又明治卅二年以來中山農業補習學校を設立し、以て農民の智識を啓發し、地方青年をして農蠶業に關する智識を得るの機關となし、自ら卒先改良苗代を設けて他に其範を示し、農民を指導して之れが實行を促し、又稚蠶共同飼育の得策なるを説き、且つ桑園の増殖を主張し、自ら指導者となりて山野を開墾せるもの三十餘町歩あり。其他堆肥舎を建設して其改良製造方法を示し、又馬耕を奨勵する等同村農業界に利益を與へたるもの多く、衆望甚だ高し、以て他の模範たるべし。

堀熊太郎君

飽海郡中平田村大字熊手島

氏は少年時代より農業に従事し、夙に力を米穀の改良に致し、撰種栽培、施肥、虫害驅除豫防の方法等を講究し、又各地を遊歴して農業の實況を視察し、或は學者老農

等に諮問して専ら稻作の改良に盡瘁せり。其他本村農會の創立に際して副會長となりて公務に従事し私費を投じて鹽水撰を行ひ或は所有の耕地三町八反歩の整理を遂行する等専ら農事に盡し、現に中平田村農會副會長、飽海農會評議員、飽海郡耕地整理常務委員、中平田村信用組合長理事等の職にあり、而して其功績により縣知事郡長等に表彰せられたる事一再に止まらざるなり。

佐藤 吉次君

南置賜郡六郷村大字轟

資性温順農事に志厚く、私費を投じて各種の農業改良に關する試験を爲し孜孜として自己並に公衆の利益を増大せん事を期す。村會議員、水利組合總代、學務委員等に推舉せられ其他公職に就し事甚だ多く、其の功績により賞を得たる事亦尠からず。各種農産物共進會又は品評會等に出品して一等賞其他の賞品を得たる數十三回あり。尙ほ近年肥料の農業上忽諸に附すべからざるを悟り、配合的試作をなし、一面には肥料の共同購入を實行し、其利益の大なるを農家に知らしむる等の盡瘁によりて農事諸般の施設に改善を加へられたるもの甚だ多く、其に農家の

の龜鑑たるべきなり。

佐藤 清三郎君

東田川郡余目村

夙に心を農蠶業に傾注し、數十年間終始一日の如く斯業の改良發達に盡瘁し、今や齡古稀を過ぐるも孜々専心勉めて、些も倦怠の色なし、之れが爲め官其他より賞與表彰せられし事幾十回なるを知らず、以て如何に氏の農事に貢献せるの多大なるかを窺知すべし。加之各種の公職に就きては能く其職務を盡し、操行端正温厚篤實實に獨り農會の功勞者たるのみならず、公人として將た私人として他の龜鑑となすに足るべきなり。明治四十一年九月、皇太子殿下東北行啓の際、特に氏を御旅館に召され有難き御説を賜はりたり。

勤七等 紺野 久五右衛門君

西置賜郡東根村大字畔藤

氏は資性温厚篤實農事に熱心にして常に自ら耕耘に従事す、明治廿四年田區改

正に力を盡し、廿五年他に卒先して苗代改良を實行し、良結果を得て之れを他に勸誘す。卅七年模範共同苗代を設置し好果を收めて賞を受け、翌卅八年模範堆肥小舎を建設し、肥料製造法を研究し大いに堆肥の改良を圖る。卅九年全村農會長となるや當業者を鼓舞督勵し、或は青年農會の活動を圖り、其成績常に他町村の上にあるあり。又氏は蠶業にも熱心にして桑樹の栽培、肥料方法等に改良を加へて大に得るところあり、其他公私團體の重役、造林事業、農産物品評會の開催等に盡力し、全村長在職中は特に勸業に意を留め、其功績偉大なるものあり。卅七八年時局に際しては種々の功勞により勳七等青色桐葉章及び金五十圓を賜はり、現に郡會議員の職にありて直接間接に全部勸業上に盡瘁するところ多大なり、真に農家の龜鑑と謂ふべし。



金七助君



高橋七之助君



二田是儀君



伊藤半治君



立山第四郎君

秋田縣

四九

秋 田 縣

高橋七之助君

岩崎町

氏は夙に農事改良の基礎は耕地整理にあるを思ひ、明治卅四年有志者と協議の結果、耕地整理發起人となり、卅九年十月認可後、其委員長となり、て斯業に盡瘁し、四年豫定の地區竣成を告げたり、其反別二百七十町歩餘なり、又農村風紀の改善に志し、農家の子弟休日夜間等を遊惰に空費する風習あるを憂ひ、明治卅九年岩崎町長に交渉し、町立圖書縦覽所を設立せしめ、彼等子弟をして讀書の趣味を養成せしめたり。其他共同苗代を創設して農業上に利益を及ぼしたる等、本町の爲めに盡せる功績洵に多大なり。

秋 田 縣



池田文太郎君



齋藤宇一郎君



土田萬助君



坂本理一郎君

五〇

金 七 助 君

北秋田郡米内澤町

明治三十四年縣農會の囑託に依り静岡、石川、富山、京都等に於ける耕地整理の實況を視察し、兼ねて廣島より四國其他の各地を遍歴し、農況を視察して歸來奮然蹶起、自村百參十餘町歩の耕地整理の測量設計をなし、今や自作地三町歩餘を模範として整理計畫中にあり。肥料運搬用擔桶を製造し、卒先して自作地數町歩の乾田實施を行ひ四隣をして之に模倣せしむ。鹽水撰の實施は明治廿六年以來之れを行へり。又堆肥の改良には専ら意を用ひ、模範堆肥舎を設置して縣農會及び郡農會等より感謝狀を贈られたり。殖林事業は明治十九年以來熱心努力せる所にして、自ら杉、扁柏、落葉松、桐等の苗を栽培し、其獎勵の任に當り、數萬の苗木を無代にて配布せる事もあり、地方殖林事業の發展に貢獻せる事實に尠からず。其他馬耕正條植、麥の栽培、牧草栽培、蘭蒔事業、害蟲の驅除、畜産獎勵、養蠶等に至る迄、凡そ農家の事業にして、氏の獎勵以て其發展に盡さざるもの殆んどなく、農事に裨益を與へたる事實に枚舉に遑あらざるなり。

石川理紀之助君

南秋田郡豊川村

明治十二三年の頃米價頻りに騰貴して、農民の生計一時甚だ裕かなりしも之れが爲めに、奢侈遊惰の氣風養成せられたり。然るに一朝米價の暴落するや、忽にして甚だしき困難に落ち入りたり、氏は當時職を縣官に奉ぜしが、之れを聞きて深く慨嘆し、斷然官を辭して郷里に歸り、農業經濟會なるものを設けて勤儉力行を唱導し、施肥耕耘の方法より、勤休の紀律に至るまで、諭示戒飾すること懇篤を極め、切々の言能く村民の肺腑に徹し、又一人の教に背くものなく、爾來僅かに五年全く衰勢を挽回し得たり。又本縣は古來杉樹の生産地にして、良材に富みたるも、維新以來山林保護の法行はれず、一方濫伐の弊に流るゝを患へ、明治八九年の頃より杉樹の苗木を育成し、廉價を以て衆人の需用に應じ、以て大に植樹愛林の思想を喚起したり、今や附近一帶鬱蒼たる森林を見るは實に氏の賜なり。明治廿八年縣郡町村農會の設立せらるゝや、推されて秋田縣農會長兼南秋田郡農會長となり、年々全國農事大會に出席し、演說講話をなし、又有益なる著述をなし、農業經濟上の智識を紹介し、農事の發展を盡くしたる功績洵に顯著なるものあり。故に明治三十四年綠綬

褒章を賜ひて其善行を表彰され、且銀杯一個を副賜せられたり。

二 田 是 儀 君

南秋田郡飯田川村

家世々開墾事業に従ひ、父是雄氏に至る四代七十餘年間に於て、居村飯塚外數ヶ所に水田を開拓すること實に三百十數町歩に及ぶ。慶應三年父と與に南秋田郡天王村に屬する原野五百有餘町歩の開墾を企圖し、父子相携へて卒先此所に居を移し、廣く移住農民を募りて新たに一村を形成して二田村と稱し、移民に對しては家屋、金穀、器什等悉く之れを貸與し、灌漑用水の便を圖りたる等巨萬の財を費し、精勵刻苦すること四十餘年、非常の困難と戰いて遂に今日の大成を見るに至れり。而して父祖以來の成懇田畑宅地七百餘町歩、植林三百八十餘町歩に上り、移民戸數百三十餘戸を算するに至れり。又近來米價騰貴の爲め細民窮迫を告ぐるを憂へ陸稻甘藷の栽培を奨励し、夙夜専心農事の改良に盡瘁し、老年に至るも苟も怠ることなし。曩に第六回奥羽六縣聯合共進會の開設あるや、農事功勞者として其の表彰する所となれり、氏の如きは眞に模範的人物と謂ふべし。

立 山 弟 四 郎 君

鹿角郡毛馬内町

夙に農事の改良に意を注ぎ、普く諸國を遊歴して各地の施設經營を調査し、其範の採るべきものあれば之れが要領を印刷して四方に頒布し、或は部落を巡回して諄々産業上の講話を爲し、其他蠶絲同業組合に農會に産業獎勵委員に、事の苟も産業にかゝるものは奮つて之れが衝に當り、熱心奔走怠ることなく眞に多年一日の如し、殊に耕地整理の如き殆んど寢食を忘れてこれが勸誘に努め、遂に毛馬内、七瀧小坂の三ヶ村に渉る大區畫の設計を確立せしめ、大いに郡民の注意を喚起し、競ふて之れが計畫實行に着手する勢に至らしめたり。其一度巡回の途に上るや幾旬の間殆んど家門を顧みるなし、其の熱心眞に嘆稱すべきなり。而して氏の力によりて農事の改良進歩に貢献せるもの幾許なるを知らず、其功績洵に多大なりと謂ふべし。

伊藤半治君

河邊郡川添村

町村制實施の際村長に擧げられ、爾來再三其職を襲ふ。常に孝養の心深く明治十三年縣の賞する所となり、徳望近郷に及ぶ、同年縣より植物試驗場擔當を命ぜられ、爾來農事の改良風紀の改善に留意し、農家休業日の多きを減じ早起夜業を奨め、躬行實踐自ら範を衆に示し、勤勞の美風を涵養せり。偶々縣堆肥舍管理規則、乾田稻架の利を設くるや、率先堆肥舍を造り、肥料改良、乾田實施の模範を示し、其他自費を以て二十餘町歩の山林を買入れ、之れを居村七十戸の細民に分與し、又公課の忽にすべからざるを説きて、租稅滯納の弊風を一洗したるが如き、公私の事業に對し、誘導啓發裨益を與へたるもの實に尠ならず、明治四十年大日本農會より名譽賞狀を贈與せられたり。

齋藤宇一郎君

由利郡平澤町

農科大學に入りて其業を卒へ、一時官職に就かれしも、幾もなく辭して専ら農耕

に意を注ぎ、縣下農事の改良に盡瘁す。曾て卒先試作田を設け、乾田馬耕の教師を縣外より聘して之れが施業の實際を一般農家に見聞せしめ、或は堆肥舍を築造して堆肥改良の模範を示し、或は試作の成績を印刷して同好の士に頒ち、又自ら關西九州等の先進府縣の農事を視察する事、一再にして止まず、而して其見聞を蒐集して農事視察録三編を作り、廣く之れを當業者に頒布し、以て斯業の發達に資する所あり、其他同縣に於て輸出米検査の舉あるや、同志地主と協議して小作標準米を設定し、自家邸宅の一部を提供して米庫を新設し、一般小作地主兩者の利便を圖り、毎歲約二萬餘俵を入庫するの盛況を呈するに至り、延て地方産業の聲價を發揚せる事尠ならず。殊に明治三十三年平澤町農會長として同町の農事調査を完成し、自費を以て其要領を印刷し、之れを縣内各地に配付せし等、農事に關する施設經營共に其宜しきを得功績甚だ大なりとす。

池田文太郎君

仙北郡高梨村

専ら農事の改良發達に盡瘁し、其の効勞の見るべきもの甚だ多く、曾て産米改良

の目的を以て小作米品評會を企畫し、賞品を掲げて自家の各小作人を獎勵したるに競ふて良米を出し、意外の好成績を示すに至れり。明治三十三年仙北郡地主會の創設は全く此小作米品評會に胚胎せる者にして、衆望の歸する所之れが會長となり、俵米の品評、乾田の獎勵、産馬の改良等各種の事業に貢献したる事眞に尠しとせず。殊に居村全部に至る田畑千五百五十町歩の耕地整理を實行して着々工事を進め、明治四十二年秋を以て其全部の成功を見るに至りたり、而して縣の模範整理として翹望せられ居るは、氏の功績の與つて力ある所此處に喋々を要せざるなり。

坂本理一郎君

仙北郡千屋村

夙に農事改良に意を注ぎ、先づ村内各大字を勸農區とし、各區に模範田を置き、私費を投じて山形縣酒田より教師一名を聘し、之れが指導の下に米質善良收穫多量の稻種を撰み、鹽水撰をなし、苗代は改良苗代とし、稻苗の正條を行ひ、害虫驅除に盡瘁し、田區を改正し、排水設備、其他馬耕を施す等専ら稻作の改良に努め、傍ら耕地整理の利益を説き、大字千屋及小荒川の耕地に對し測量設計を爲したる等、氏は總

て事に當りて實踐躬行以て獎勵に勉められたれば、其効果甚だ多く、其成績頗る顯著なるものあり。

土田萬助君

平鹿郡睦合村

夙に林業の改善に志し、模範的植林を經營し、明治二十二年以來自己所有の林野約五百町歩に年々杉檜數萬本を植栽し、耕地整理を發起して、其委員長となり、既に其段別四百七十餘町歩の過半を竣功して、農耕の利益を増進し、又農事の改良、進歩は地主の力に俟つ事大なるを認め、明治三十八年自ら主唱して平鹿郡地主會を開設するに至り、推されて其の會長となり、専心農事の改良發達を期し、乾田稻架、肥料耕地整理、種子の撰擇、輸出米の改良、小作人の獎勵指導に努め、年々俵米品評會を開催して、産米の改良を圖り、其他小作人保護の目的を以て私費を投じて、稻架乾燥の材料を給與し、肥料を購入して之れを配布施用せしめ、或は勤儉貯蓄を獎勵して、自ら之れが管理の任に當りたる等、其効績顯著にして、他の模範とするに足る。

福井縣



多田三郎君



藤堂亮君



山田敏君



藤崎右衛門君

七九

福井縣

藤堂雅亮君

大野郡坂谷村養通

夙に東京に出て、修養するところあり、明治四十一年村農會長に當選するや、農事百般の改良刷新に腐心し、桑樹の改良、模範桑園、模範堆肥場、米作改良、原種田等の設置をなす、改良農具の見本購入、稚蠶共同飼育、石灰肥料防止の方策として、人造肥料共同購入を企て、産米改良獎勵法を設け、當業者に毎年授賞し、綠肥の栽培、苗代の整理、種子の鹽水撰害蟲驅除、蔬菜果樹の改良發達に關し、日夜經營畫策怠らざるのみならず、時々講習會、講演會等を開きて、農家の智識増進を圖り、村農會長となると同時に、郡農會、縣農會の坂谷村及大野郡の代表者となり、其他農事視察の爲め各地へ出張し、品評會、共進會等へ出品して受賞し、以て他に其範を示せる等、農事諸般に涉りて盡瘁し、其功績洵に多大なるものありとす。

明治廿七年四月三十日郡會議員に當選し、全廿九年村農會長に當選農事に盡力し藍作を獎勵し、改良農具を郡内に分配し、各種共進會の審査員となり、郡縣農會の評議員となり、全三十五年には村長に當選して、後再三其職を重ぬ、兒童の教育を獎勵せる等、其功勞尠なからざるを以て、縣知事郡長等より銀杯、賞狀等を受けたる事甚だ多く、全四十一年十二月一日、大日本農會總裁宮殿下より、表彰狀を下賜さるゝの榮譽を荷ひたり。全年兵庫、岡山、愛知、滋賀、富山、石川等の各縣に農事視察として出張し、全四十三年四月村長に三度選ばれたり。

齋藤 勘右衛門君

今立郡中河村

青山 莊君

足羽郡東郷村

明治三十二年福井縣會議員に當選し、全三十八年村長に當選す。福井縣に三大河ありて、明治二十七八九の三ヶ年大洪水あり、爲めに河水汎濫し、耕地の損害作物の被害其慘狀筆紙のよく盡し能はざるものあり、縣民皆河身改修を望む事大旱の

の零寛も當ならず、故に氏は全三十三年河身改修請願の爲め、同志議員と共に上京委員となり、東奔西走、貴衆兩院に請願するところあり、全年二月幸に縣民の意志貫徹し、兩院を通過し、參百八拾餘萬圓の繼續事業として、着々其進行を見、今や將に完成の域に達せんとす。これ一に氏等盡力の賜なり。全三十五年以來株式會社福井銀行の取締役たり、全三十九年には縣農會議員となり、全四十三年地方森林會議員、産業組合中央會、福井支會理事等に就職せり。

勳七等多田金三郎君

吉田郡五領ヶ島村

資性慧敏、明治二十九年十一月始めて本村收入役に選任せられ、全三十六年八月本村長に當選し、重任今日に至る。恪勤克く村務に服し、自治の發展に力を盡し、農事の改良、教育の普及、基本財産の蓄積、勤儉貯蓄風紀の改善、納税の整理等、治績見るべきもの尠ならず、今其概略を擧ぐれば、本村は從來二毛作を爲し、稻作の外、大麥、小麥、菜種等を植付け、少からざる收穫を得るも、氏は尙ほ二毛作に適する餘地尠からざるを遺憾とし、偶々紫雲英栽培の有利なるを聞き、去る明治三十四年縣農會より

紫雲英種子一升の配布を受け、自己の田地に試播せしに、成績良好なりしを以て、之を村内一般に奨励せしかば、播種するもの逐年増加し、巨利を得るに至れり。其他稻種子、塩水選短冊共同苗代、及稻田の正條植等に就ては、其季節毎に部下吏員と共に、村内を巡回し、督勵に努め、又害虫驅除、養蠶業奨励等氏の盡瘁により、効果の擧がれるもの眞に尠からず、其功勞洵に偉大なるものありとす。其他教育事業にも盡力する事多く、明治三十三年以來、縣農會評議員の職を奉職しつゝあり。

澤本常治郎君

遠敷郡鳥羽村黒田

氏は多年農事に勉勵し、其勤勉罕に見るところにして、明治二十八年三月より今日まで引續き、鳥羽村農會長の職にあり。全卅七年郡農會副會長に當選し、全年十二月郡農會代表者及縣農會代表者に當選し、全四十一年亦縣農會代表者及縣農會評議員に當選、全四十二年郡農會副會長に再選せられたり。

山田 歙 君

坂井郡高椋村

資性温良清廉、縣下屈指の豪農にして、夙に農業の振興に志厚く、曾て縣會議員となり、又大地主選出郡會議員となるや、専ら地方民力の發展に盡せり。明治二十八年縣農會の設立と共に、副會長に選ばれ、再來十有餘年細大の事務に執掌し、畫策最も宜しきを得、農事試驗場を經營し、又全會の耕地整理事業の調査設計を擔任するや、幾多の繁務に盡瘁し、全農會の事業をして増々發展の域に向はしめたり。又氏は坂井郡農會長として會務を主宰し、農事試驗場にて試作模範作を農家一般に示し、或は農産品評會を開きて、競進奮勵せしめ、或は精農者を賞して後進を誘導し、其他水稻種子採種田を設置し、牛馬耕傳習會を開催する等、郡内篤農家を指導し、以て全國模範農會の一たらしめしもの寔に氏の盡力精勵の結果によるところとす。園藝奨励の爲め果樹園を設け、又農家に普通教育の普及を圖り、勤儉貯蓄の美風を養成せしめん爲め、明治三十七年興農貯金組を創設し、自ら組長の任に當り、其奨励に努め、又興農會及興農共濟會等を設立し、風紀の廓清を圖らん爲め、講演會を開き、精神の修養風俗の矯正に努むるのみならず、博愛慈善及救濟等の事業に對しては

常に應分の寄附をなし、殊に戰時に於ける後援事業の如きは、終始熱誠を捧げて之に當れり、其の功績洵に偉大なり。大日本農會、綠白綬有功章、日本赤十字社の有功章等を有せるにても、其一斑を徴するに足るべきなり。

田保仁吉君

敦賀郡敦賀町津内

氏は明治三十五年以來、敦賀郡農會及敦賀町農會役員に選ばれ、現に町農會長、郡農會幹事たり。然して就職以來、常に農事の改良に意を注ぎ、町農會員を指導獎勵し、耕地整理には衆に卒先之が斷行をなし、其範を示し、又稻種の選定、種類の統一を圖るは、稻作改良上最も必要なるを唱導し、町農會主催の種子交換會を開催せし事一再に止まらず、又町農會に採種田を設置するに至れり。敦賀郡農會は從來唯其名の存するのみにして、其實之に伴ふ能はざりしが、氏の同會役員に選ばるゝや、之を慨し、明治三十七年始めて農事試験場設立の議を提出し、百方苦心の結果漸く其案を通過せしめ、遂に農會の面目を更むるを得たり。其他灌漑排水の便を計り、荒蕪地の開墾、産米の改良、報徳社の設立等一般農事に盡くしたる功績甚だ大なりとす。

全四十二年大日本農會總裁宮殿下より第三回農事改良獎勵法により名譽賞状の下賜ありたり。

井上六兵衛君

南條郡南柚山村上別所

世々農を以て業とし、明治二十六年四月村會議員に當選するや、常に農事の改良に意を注ぎ、拮据電勉殆んど寢食を忘る、其他教育衛生消防の事に至る迄、總て君の關與せざるなく、明治三十三年十二月南條郡物産品評會審査員となり、全卅四年十月郡農會評議員に撰はれ、全卅五年七月福井縣知事より、螟蟲に關する功勞に對し謝状を受く、卅六年四月郡農會副會長となり、卅七年九月縣農會會長より、農事の改良に關し功勞あるの故を以て感謝状を受く、卅九年三月大日本農會總裁伏見宮殿下より賞状を賜はる、全四十一年稻作立毛品評會審査員となり、郡農會肥料試驗擔當者に撰拔せらる、四十二年九月 東宮殿下 北陸行啓の際實業に關する功勞者として特に拜謁を賜ひ、紀念品の御下賜を受く、四十三年五月縣農會より、兵庫、愛知、三重の各縣へ農事視察として、派遣を命ぜられ、今尙農事の改良に苦心せらる、而して

卅一年以來共進會品評會等より賞を受けし事十八回に及ぶと云ふ蓋し君の如きも亦實に我國に於ける農事界の功勞者と謂ふ可きなり。

石
川
縣



本 岡 三 千 治 君



山 岸 一 郎 君



松 井 八 三 郎 君



吉 田 與 四 兵 衛 君

五
一

石 川 縣

山 岸 一 郎 君

江沼郡月津村字月津

明治二十二年以來縣郡村等の名譽職に擧げられ、夙に農事諸般の改善に留意し熱心以て其衝に當り既往十ヶ年間に奏功せる事業甚だ多し。即ち村内柴山湯沿岸開墾の有利なるを認め、明治三十七八年戰役に際し紀念事業として其獎勵勸誘に努め、其結果二十餘町の開墾田地を完成せしめたり。又耕地整理事業の必要を認め、村内柴山に於て全區有志と協議し、明治三十五年より着工せしめ輕便軌道を購入し、溜池を設置し、沿岸に堤防を新設する等全三十八年に至りて成工を告ぐ、其反別田畑合計百有餘町歩に及べり。其他農家の副業として養蠶製茶等の獎勵を爲し、桑園二十餘町茶園貳町五反歩の栽培を爲し、蠶種の共同購入及生繭共同販賣等の途を講じ、生繭乾燥器を設置する等當業者に裨益を與へたる事實に尠しとせず。

石 川 縣



長 濱 佐 吉 郎 君



坂 東 八 郎 君



泉 清 助 君

吉田 與四兵衛君

能美郡板津村字蛭川

幼時より農業を營み先代與四平氏の經營に係る實生桑園栽培事業を繼續し、天保年間より現今に至る迄其栽培に従事し、其間幾多の經驗を積み終に今日の成功を見るに至れり。就中慶應元年の頃金澤市の金子清作氏なる人より攝州産の良桑苗あるを聞知し、之れに接木法を行ひ頗る好成績を挙げ得たり、現今金子桑と稱するものは是なり。爾來栽培に従事するもの續出し、年々數百萬本を搬出して地方重要の一物産となるに至れり。又之れが販路の擴張にも大いに盡瘁するところあり、其他自ら蠶業に従事し其獎勵に努むる等、直接間接に當業者に裨益を與ふる事甚だ多し。

大本九十郎君

石川郡埴浦村字大桑

明治三十六年冬期始めて農事夜學會を設け、農家の子弟を集め老農及び教員を聘し教授を托し、子弟を教育せし、以來勤儉貯蓄の美風を涵養し、農家の風紀を改善

する等に努めつゝあり。又村内に二ヶ所の稻作試験場を設け、肥料試験を行ひ其模範を他に示し、又米作競技會を開催し、耕種術を競はしめ、其他農産品評會、種子交換、稻種鹽水選、麥黑穗豫防等の諸般を獎勵し、副業として共同稚蠶飼育場、乾繭場、玉繭製糸傳習所等を設け、麥稈眞田製草、蘭草の栽培等農事改良上に盡せる功績眞に大なり。

本岡三千治君

河北郡小坂村字大衆免

明治十八年河北郡義倉頭取たる當時幹部と協商し、金壹萬圓を支出して郡内に分配し、田區改正の費途に充てしめ、其結果郡内に田區改正事業續々起工するの機運に達せり。又全村内に灌漑の便なく、爲めに最も劣等田と稱する一部落あり、之れが改善の急務なるを説き、明治十八年區劃改正事業を起し、數年ならずして成功を見るに至れり。明治三十年奈良和歌山二縣に林業を視察し、歸來縣下に其振はざるを嘆じ、自費を以て種苗を購入し、苗圃地を設け無代にて郡内有志者に分與し、殖林事業の發達を資けたり。明治三十五年金浦村字下田上に於て本田伊左衛門

氏と耕地整理を企て、幾多反對の聲ありしにもかゝはず村民をして其有利なる事を知らしめ、遂に其決行を見るに至る。尋て薬師谷村字堅田に於て下田上同様の件ありし時も、斡旋盡力大に努め、其成功を見るを得せしめたり。

松井八三郎君

羽咋郡羽咋町

夙に農業教育の不振を慨し、斬く本縣に農學校の設立あるを聞て、能く上下當局の間に奔走し、寄附金募集等に努め、其設備の完成を速かならしめたり。明治二十九年縣農會の創設に際しては、其常任幹事となり、精勵すること十年間、其功勞多大なりとす。又産米粗悪に流れしを慨し、之れが改良を圖らんが爲め、明治二十年改良米會社なるものを起し、其改善を圖れり、而して一時輸出米の聲價を保ち來たりしも、其後解散するの止むを得ざるに至れり、爾來此の事業を繼承するものなく、爲めに米質改良は非常の難事たりしかば、縣事業として輸出米検査の方法を講ぜられん事を望み、之れを縣當局者に献策するところあり、故に縣當局者も輸出米検査の制定を發布するに至りしは、氏の盡力與つて力ありと謂ふべし。

長濱佐吉郎君

鹿嶋郡能登部村字西馬場

夙に農事改良に意を用ひ、勸業委員、村農會長及村農會代表者等の職にありて能く其任を盡し、苟も改良すべき事あれば、衆に卒先して實行し、其功果を見て村民に勸誘勵行せしむ。害虫驅除豫防の如きは、一村協同の實を擧げ、他町村の好模範たり、又養蠶事業に従事し、他縣を視察して飼育法等を調査し、彼我對照して改良すべき點あれば、之を當業者に奨勵實行せしめ、漸時其實を擧ぐるに至りし等、其功績大なりと謂ふべし。

坂東八郎君

鳳至郡大屋村字小伊勢

資性篤實品行方正にして、夙に農事に熱心し、米麥種子鹽水選の有益なる事を當業者に奨勵勸誘し、其結果自村に於て其過半を實行せしむるに至れり。其他害虫驅除豫防及馬耕使用法等に付き、共に其有利なるを説きて、之れを勸誘し、漸時其實行者を増加せしむるに至れり、其功績洵に多大なりとす。

泉 清 助 君

珠洲郡三崎村

資性着實にして意を農事の改良の注ぎ、明治九年以來自家耕地收穫量及歩合を明記し、以て豊凶の参考に供する等其主意實に周到なり。共進會品評會等の審査員となり、郡農會、町村農會等の代表者に選舉せられ、郡縣より農事試験を囑托せらるゝ等、本郡農事獎勵上に氏の與からざるといふ事なし。明治三十三年時の郡長柴田氏と共に計りて其居村なる鉢崎村字本に模範的耕地整理の實を示さんとし、百方盡力非常の困難に遭遇せしも、一意専心其素志の貫徹を期し、頑固なる地主を勸誘する爲めには數回乃至十數回の多き其の利害得失を説きて、漸く之れが賛成を求め、明治三十五年十月起工全三十六年四月全部の工事を終了せり。其の功勞や實に多大なるものあり、眞に他の龜鑑たるべし。



君 那 次 豊 垣 稻



君 治 傳 坂 上



君 信 義 杉 村



君 郎 三 喜 浦 義



君 八 宗 野 宮

富 山 縣

五三

富山縣

高見秀之君

上新川郡大廣田村大字千原崎

氏は從來縣郡村農會の成立に盡力し、農事の改良獎勵に努め、十年一日の如く、其効果を農事上に與へたる事甚だ多し。近來海産肥料の價格騰貴するや、支那輸入大豆粕の肥料主成分多くして、其價格も亦廉なるを以て、卒先自ら大豆粕數千貫を購入して之れが施用説明書を添付し、郡役所の手を経て之れを廣く頒布したり。今年年々本縣下に其需用者を増加し、高價なる海産肥料を防止し、農家をして利益を得せしめたるは、氏の指導誘掖の效果に外ならず。其他特産種子の普及に努め、果樹栽培の利益あるを認め、明治二十八年果樹園を創設し、其栽培反別四丁餘歩に亘り、上新川郡模範果樹園として縣下に範を示すにいたれり。

富山縣



中田藤一郎君



坂井敬義君

五四



野上作君



池田六右衛門君

上 坂 傳 治 君

中新川郡東加積村大字小鹿野村

夙に心を農事の改良に注ぎ、事の改良すべきあれば、不撓不屈、克く困苦に堪へ、勵精遂行して其効果を收むるを常とす。日露の交戦、喚發せらるゝや、農村風紀の改善を唱導し、嚴に奢侈を戒め、自ら鹿衣粗食、日夜勞働に従事し、他に範を示し、又農事講習會ある毎に、當業者に出席を勸誘し、會々其應ぜざるあるを見れば、自費を抛ち、多少の手當を之れに給して出席せしめ、害蟲の發生に當りては、卒先して其驅除を勵行し、其他種子の共同購入、堆肥製造の實行等、其農村の爲めに盡せる實に枚舉に遑あらず、其功績洵に顯著なるものあり。

稻 垣 豊 次 郎 君

下新川郡萩生村大字萩生村

資性温厚にして、夙に農事に志厚く、常に節儉を重んじ、實踐躬行怠る事なく、慈善事業或は生産事業等に就ては、其費を惜まず、卒先して郷黨に其範を示す。種子鹽水撰、稻の正條植、灌漑水害蟲の豫防、驅除、綠肥堆肥の改良及び肥料の配合選擇、米穀

の乾燥、蔬菜の改良、蕃殖等に全力を傾注し、今や瓜類に於ては名聲縣下に冠たるに至れり。明治三十八年八月、村民を勸誘して産業組合を設立し、萩生村をして、縣内に於ける一の模範村たらしむるを得たるは、氏の盡力與つて大なるものあり。

村 杉 義 信 君

婦負郡黒瀬谷村字村杉村

資生温厚常に農事の改良に熱心盡力し、又地方農事の改善に苦心し、獎勵誘導甚だ努む。四十年以來、非常の奮勵を以て、従來の蠶業以外更に七町五反歩の稻田を自作し、自ら鋤をとり、耕馬を飼養し、傍ら盛に堆肥を製造し、猶他を勸誘し、以て輸入肥料の減少を圖り、種子は悉く鹽水選、稻田は悉く正條植、耕作は悉く馬耕、其他害蟲の驅除、一切の管理等、到らざる處なきのみならず、地方風紀の改善に努め、産業組合を創設して、經濟の發達を謀り、紀念事業として、村及び自己に於て十ヶ年繼續の殖林事業を起し、其他地方全般の農事改良に苦心盡力し、獎勵誘掖甚だ努む、其行爲は地主中甚だ罕に見るところにして、眞に農家の模範たるべし。

宮野宗八君

射水郡掛開發村大字萩生村

多年農事の改良獎勵に意を用ひ、或は自ら試作し、以て模範を示し、或は他を指導誘掖し、特に日露時局當時以來一層熱心を以て常に村内を巡視し、堆肥製造、鹽水選種の功能、農作物栽培法注意、苗代構造法其他副業としては養鶏飼育、蘭草栽培、蘭麩製造等百般の事に就き勞苦を顧みず、熱心指導獎勵せる如き其篤行洵に拔群にして、其功績顯著なるものあり。

義浦喜三郎君

西礪波郡北蟹谷村大字八講田村

多年農事改良に勵精し、各種の稻種を購入して稻作種類選擇に意を注ぎ、數年間試作を爲し、銳意之れが試験に従事し、専ら米作改良に力を盡せり、而して其結果の良好なりしものを篤志者へ無代配布して試用せしめ、又農談會を開きて之れが試験の結果を公衆に示したるが爲め、次第に稻種改良に意を注ぐもの續出し、稻作上著しき進歩を致せり。其他副業としては養蠶飼育に努め、特に日露時局當時には

教師を聘して自家の養蠶改良に努め、其の結果を同業者に示し、或は矯風會を起して奢侈を矯め、大に節儉の美風を養成する等、前後數十年間、氏が凡ての方面に奮勵せし結果、農事其他風紀上に於ける改善の大に見るべきものあり、全く昔日の觀を一變せり、其功績洵に多大なりといふべし。

中田藤一郎君

東礪波郡藪谷村大字細野村

夙に農村自治の風紀開發に意を注ぎ、明治三十一年能美村書記に就職せし當時全村の紛擾絶へざりしかば之れを分村せしめ、後藪谷村の村長となれり、爾來村治に一身を委ね、既往十餘年孜々として經營せる結果、同村をして縣下の一模範村たらしむるを得せしめたり。戰時紀念事業として其名聲甚だ高き全村細野の耕地整理の如き、氏が委員長として經營せる公共的事業の一にして、其他紀念林の經營村農會の活動等、他の模範たるべき功績洵に尠なからず。

野 上 作 君

上新川郡堀川村大字上掛尾村

夙に農事の改善發達に留意し、村内首班に列する地主の身を以て、常に自ら耕種に勤め經驗自得する所あり、明治二十九年村長の職に就き、指導の地位に進みしを好機とし、農事上各方面に涉りて誘掖督勵一日も倦む事なく、害蟲驅除豫防、米穀検査種鹽水選、短冊形苗代設置、正條植、乾燥調製改善等、常に卒先實行して當業者を勸誘し、又一面地主小作間の親和を謀る爲め小作獎勵法を設けて、小作者を愛撫保護し、再三村長に舉げられ村民一同の歸服する處たり。明治三十九年八月堀川村信用購買組合を組織し、理事長として其經營に努め、設立日尙淺きに縣下の模範組合として稱揚せらるゝに至る、村民亦舊來の弊風を一洗し、勤儉平和の美風は村内に満つるに至れり。

坂 井 敬 義 君

射水郡下村大字下村

資性篤實にして農事の改良に志厚く、十年一日の如く始終倦む事なく、常に村内

一般の農事改良を實行なさん事に苦心經營し、改良事項を普及せんとする時は村農會を召集して充分に當業者に諮問し、其事柄に付き克く精通したる人を選抜し當業者間に懇切實地指導せしに依り、克く人々も之れを信じて一人として背くものなく、年一年に農事改良の實蹟を擧ぐるに至れり。氏は又實業會各會の會長となり、其定めたる事項は一般實地に應用し、郡内の模範となり、其効蹟頗る顯著なるものあり。

池 田 六 右 衛 門 君

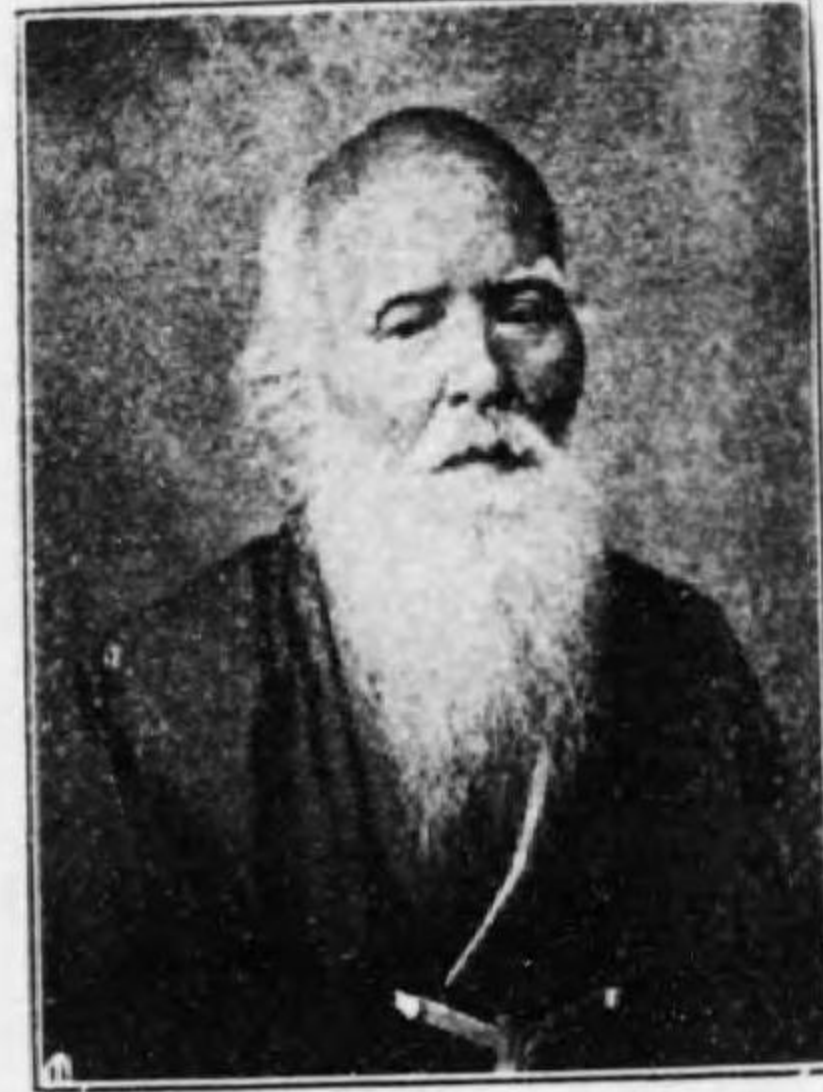
氷見郡基石村

夙に農事に志厚く村長に選ばれて勤績九年に及び、現に其職にありて村民の囑望甚だ高し。畜産を獎勵して馬匹の改良蕃殖を圖り、堆肥の製造普及を勸め、殊に町村基本財産蓄積を行ふ事に努力せり。又山林の荒廢を嘆き、之れが恢復を計るには苗木供給の最も急務なるを信じ、農會をして苗圃を設置せしめ、造林の普及を計り、遂に模範林の造成を見るに至れり。

鳥
取
縣



正 塔 種 太 君



岩 本 廉 藏 君

五
五



山 下 專 藏 君



漢 邊 信 平 君

鳥 取 縣 上 山 吉 次 君

氣高郡湖山村

夙に蠶業に志し、明治十三年地方蠶業の振はざるを憂ひ、但馬、丹後、近江を遊歴し、養蠶の方法を調査し、苧桑苗を購入して之れを栽培したり、是れ地方苧桑式桑園の嚆矢にして、後十五年始めて春蠶を飼育し、其産繭によりて得たる精巧なる絲を地方婦女子に縦覽せしめ、大に感動を與へたり。之れが爲地方蠶業勃興の動機となり、爾後附近の有志者にして氏に模範を取らんとせるもの續出せり。其後種子研究の結果、排水の方法、種類の選擇、栽苗、栽植等の改善に大に貢献するところあり、依て明治三十九年十月大日本農會總裁宮殿下より賞狀を賜はり、全四十年三月鳥取縣農會より功勞賞を授與せられたり。

鳥 取 縣



君 義 弘 形 諸



君 業 弘 原



君 重 吉 川 村

五 六



君 治 爲 尼 西

岩 本 廉 藏 君

東伯郡下北條村

夙に心を殖産に注ぎ、萬延元年本村田井國坂江北三ヶ村の不毛地を拓き、田畑二十町歩を得、灌漑の便を計り、爾後年々開墾事業に盡瘁し、七十七町歩を完成せり、又牧場を田代村に設けて内外牛種の蕃殖を圖り、養蠶製糸を盛ならしめんが爲め有志と謀り桑田を起し、桑苗を購入して之れを衆に頒布し、教師を雇ひ傳習所を設け、蠶室を建造する等、百方養蠶の爲めに盡くせり。されば明治二十七年藍綬褒章を賜はりしを始とし、全三十九年には大日本農會總裁宮殿下より有功章を賜はり、全四十年には鳥取縣農會より功勞賞を贈與せられたり、以て其功績の一斑を知るべきなり。

渡 邊 信 平 君

東伯郡下中山村

夙に殖産に心を専らにし、公益を計るを以て快事となす、されば耕耘肥料の改善すべきものあれば一意専心自ら之れが改良に盡瘁し、種子を分與して良稻を得、私財を惜まらず各地の状況を調査し、之れを参考として米麥作の改良を促したる功勞洵に多大なり。仍て明治卅一年綠綬賞を賜はり、大日本農會總裁宮殿下よりは有功章を賜はり、又全四十年鳥取縣農會より功勞賞を贈與せられたり。

中 井 太 一 郎 君

東伯郡小鴨村

夙に心を農事の改良に傾注し、多年研究の結果除草器の發明を完成し、稻の正條植を四方に奨勵し、選種苗代の方法を考案して之れを四方に遊説し、一般の農事改良に益せるもの眞に尠からず。故に明治廿七年綠綬褒賞を賜はり、大日本農會總裁宮殿下より有功章を授與せられ、又明治四十年三月鳥取縣農會より功勞賞を贈與せられたり。

正 埴 種 太 君

東伯郡倉吉町

氏は夙に心を蠶業に注ぎ、研鑽する事三十有餘年其間或は上信地方に、或は西ヶ

原に必死其研究を重ね、實驗と學理とを兼ね以て其利益を一般に及ぼせるもの實に大なり。東伯地方の蠶業今日の如く隆盛なるは氏の研究與つて力ありと云ふべし。仍て大日本農會より有功章を授與せられ、明治四十年三月鳥取縣農會より功勞賞を贈與せらる、以て、其一斑を知るべきなり。

山 柵 專 藏 君

東伯郡上灘村

夙に農事の改良に志し、卒先以て實地に學理の應用を試む。明治三十年齡四十一歳の時自ら農學校正科に入りて學理を究め、後岐阜名和昆蟲研究所に入りて昆蟲學を修む、而して之れを實地に應用し爲めに稻作の如きは一穗の螟蟲害を蒙らざるに至れり。又選種苗施作の方法を研究し、或は地主會設置に斡旋して小作人の獎勵方法を講じ、米麥作上に裨益を與ふるもの多大なりき。明治四十年三月鳥取縣農會より有功章を贈與され、全四十二年四月大日本農會總裁宮殿下より綠白綬有功章を賜はりたり。

緒 形 弘 義 君

日野郡黒坂村

志を興農殖産の獎勵に起し、力を公益に竭すを以て快事となす、地方蠶業の振はざるを慨しては卒先、園圃を開拓して桑苗を栽培し、養蠶を創めて製絲の法を講究し、兼に之れが模範を示し、専心一意勸誘に努めて怠らず、爲めに居村近郷斯業の發達せるは申すまでもなく、延て一部一縣を裨益し其功勞尠からずとす。故に全地方同業者は氏が多年の功勞に對し謝意を表せん爲めに明治三十年養蠶紀念碑を黒坂宿に建立せり。猶ほ明治三十八年五月大日本農會總裁宮殿下より綠白綬有功章を賜はり、全四十年鳥取縣農會より功勞賞を贈與せられたり。

村 田 吉 重 君

西伯郡中濱村

資性篤實夙に心を興農殖産に傾け、各地を遊歴して農事を視察し、常に實驗考究以て其得たる所を衆に示し、地方棉作の衰頹を憂ふるや一意之れが振作を圖り、多年獎勵して其品質を高め、産額を増加し、居村近郷をして棉花を以て優位を占めし

ひるに至らしめ、其他荒蕪を開拓して耕地を擴め、試作場を設くる等、勵精多年、兼に卒先して斯業の發展を翼けたる功勞實に尠しとせず。明治二十七年其功勞を以て藍綬褒章を賜はり、全卅八年大日本農會總裁宮殿下より綠白綬有功章を授與せられ、全四十年三月鳥取縣農會より功勞賞を贈與せられたり。

原 弘 業 君

西伯郡米子町

夙に農業に志厚く、明治十年より牧畜改良に勉め、卒先誘掖至らざるなし、又明治二十四年には牛馬掃除櫛を發明し、特許を得て當業者に利便を與へたる事尠からず。仍て大日本農會總裁宮殿下より功勞賞を賜はり、明治四十一年一月鳥取縣農會よりは功勞賞を贈與せられたり。

西 尾 爲 治 君

岩美郡美保村

資性溫厚篤實にして農事に勉勵し、郡内の信用甚だ厚し、夙に農事の改良に心を傾け、排水工事及稻の正條植等、衆に卒先して之れを實行し、他を誘導し、獎勵至らざ

るなく、以て其模範を近村にまで及ぼせり。其他公共事業、教育事業、畜産事業等に盡瘁し、其功績顯著にして一般當業者の模範となすに足る。仍て曩に大日本農會總裁宮殿下は有功章を授與して其功を賞し、明治四十年三月鳥取縣農會よりは更に功勞賞を贈與せられたり。

島根縣



增田齡造君



若槻一郎君



松尾龜太郎君

五七



引野彌太郎君

島根縣

若槻佐一郎君

仁多郡龜嵩村大字龜嵩

資性着實勤勉にして品行方正なり。家世々農耕を業とし、父眞六氏殖林に志篤く、衆に卒先して開墾、造林等を経營せしも、不幸にして夭折せり、氏は其後を受けて農事の改良を志し、自作田に於て稻植方法の試験を行ひ、其成績頗る良好なりき、爾來農事の改善に一意専心盡瘁し、農林業の改良、勤儉貯蓄の奨勵、麥作の栽培、村内子弟の教育等今日に至るまで三十餘年間熱誠一日の如く盡力せる功績洵に顯著なりとす。明治廿年三月島根縣知事より表彰を受け、全卅四年綠綬褒賞の下賜あり又全四十年大日本農會より賞狀を授與せらる、其他官廳團體等より表彰せられたる事甚だ多し、以て其一班を知るに足るべし。

島根縣



青戸長之助君



曾田市三郎君



眞先啓太那君

引野彌太郎君

八東郡岩坂村大字日吉

氏は資性温厚質朴にして品行方正なり、夙に心を農事に傾け、明治廿八年二月石見の老農齋藤氏につきて農作物肥料試験、及び杉、扁柏、桐、樟等の栽培法を修め、同氏より稻、大小豆等の種子の分與を受けて之れを試植し、或は自ら杉、扁柏、棕栲、櫟、桐等の種子を採取し、樹苗養殖に勉めたり。後大に造林に志し、明治三十二年山林反別貳反九畝廿四歩の造林を完成し、今日に至るまで拾ヶ年間に杉、扁柏、櫟等の造林を爲したる總反別殆んど四町歩に達し、何れも成育佳良にして他の模範たるに足る氏の子息義造氏本縣立農林學校を卒業するや、之れに耕地整理、暗渠排水等を實地に習得せしめ、共に村内の農民を指導獎勵して改良方法の普及を圖り、多大の好成績を擧げ得たり。明治卅九年共同苗代、集合苗代の獎勵に盡力し、灌漑害虫の驅除等に對し自ら其管理者となり盡瘁せり、其他村農會の評議員、害虫驅除組合長、勸業委員、米作試験員等多くの公職を有し、熱誠以て地方農界の刷新に怠らず、其功績顯著なりとす、故に明治三十九年大日本農會總裁宮殿下より農事改良の獎勵者として表彰せられ、全年島根縣農會長より表彰を受け、其他表彰を受けたる事實に鈔か

らざるなり。

從八位增田齡造君

那賀郡濱田町大字淺井

明治十二年より全三十三年に至る二十一ヶ年間那賀郡書記を勤務し、農商の事務を擔任し、農事、蠶業、林業、水産等に關し指導獎勵至らざるなく、稻種を改良して大に其增收を計り、福岡縣下に於て使用さるゝ持立鋤の使用を獎勵し、牛馬耕を行はしむる等農事の改に盡瘁せるもの多大なり。明治三十一年那賀郡農會の役員に就職するや、農事其他の事業に對して獎勵を爲し、其結果見るべきものあり、又全卅八年には有志と謀りて果樹栽培に關し研究會を設け、石見園藝會と稱し、其會長に當選し、果樹栽培法を始め、害虫に關する事項を研究し、又果物品評會を開催し、斯業の發達進歩を助長せしめたり。其他自ら韓國に渡航し、釜山附近に於ける農業、漁業及貿易の實況を調査し、其得たる所を當業者に示し、以て朝鮮貿易の獎勵を圖り、明治廿五年以來毎年春秋二期蔬菜の種子を無代有志者へ分與し、其の改良を促す等斯業に盡せる効勞は枚舉に遑あらず。故を以て明治四十一年五月大日本農

會總裁宮殿下より綠白綬有功章を賜はり其功績を表彰せられたり。

堀江國藏君

飯石郡飯石村大字多久和

資性緻密にして嚴正確實其事に當るや熱誠人に接するや懇切なり多年飯石郡農會技手の職にありて熱心事務に盡瘁し種々研讀を積み讀書を好み以て新智識の吸収に勉む。會て名和昆虫所に入りて昆虫學を研究し又夏期休暇を利用して自家の新智識養成に心掛く。郡内稻種の改良の如き氏の熱誠なる盡力により着々効果を奏し蠶治種の如きは一般に普及するに至り漸時良種の普及を見るに至れり。暗渠排水肥料改良等を畫策して漸次一般に其實行を見るに至り就中暗渠排水は縣下に於ける首位を占むるに至らしむ。其他果樹の栽培等氏の熱誠なる指導誘掖に由りて進歩發達を爲せるもの實に枚舉に遑あらざるなり。

松尾龜太郎君

海士郡海士村大字字受賀

資性温厚篤實にして品行方正海士村農會の設立あるや其技術員となり爾來勤續今日に至る其職務を執る忠實にして懇篤農事の改良耕耘方法等に付て盡瘁する所あり各部落に青年會の開設あるや必ず臨席して熱心講話農業の發達を促し又部落に青年會試作場を設けしめ之れが指導獎勵を怠らず爲めに農事の改良進歩を見るもの尠からず風紀の改善に關しては身を犠牲として之れに當り孜々勉勵至も倦怠の色なし海士村農界の模範を以て稱せらる。明治四十一年本縣より篤行模範者として其功績を表彰せられたり。

青戸長之助君

八東郡生馬村大字東生馬

資性質朴にして克己心に富む幼より農事を好み明治十七年の頃該地方未だ窒素磷酸肥料の何物たるを知らざる時に當り自ら磷酸を東京より取寄せ實地試験の結果其稻作に及ぼす効果大なるを見て之れを衆に示し同志者と謀りて屢々農

會總裁宮殿下より綠白綬有功章を賜はり其功績を表彰せられたり。

堀江國藏君

飯石郡飯石村大字多久和

資性緻密にして嚴正確實其事に當るや熱誠人に接するや懇切なり多年飯石郡農會技手の職にありて熱心事務に盡瘁し種々研讀を積み讀書を好み以て新智識の吸收に勉む。曾て名和昆虫所に入りて昆虫學を研究し又夏期休暇を利用して自家の新智識養成に心掛く。郡内稻種の改良の如き氏の熱誠なる盡力により着々効果を奏し蠟治種の如きは一般に普及するに至り漸時良種の普及を見るに至れり。暗渠排水肥料改良等を畫策して漸次一般に其實行を見るに至り就中暗渠排水は縣下に於ける首位を占むるに至らしむ。其他果樹の栽培等氏の熱誠なる指導誘掖に由りて進歩發達を爲せるもの實に枚舉に遑あらざるなり。

松尾龜太郎君

海士郡海士村大字宇受賀

資性温厚篤實にして品行方正海士村農會の設立あるや其技術員となり爾來勤績今日に至る其職務を執る忠實にして懇篤農事の改良耕耘方法等に付て盡瘁する所あり各部落に青年會の開設あるや必ず臨席して熱心講話農業の發達を促し又部落に青年會試作場を設けしめ之れが指導獎勵を怠らず爲めに農事の改良進歩を見るもの尠からず風紀の改善に關しては身を犠牲として之れに當り孜孜勉勵毫も倦怠の色なし海士村農界の模範を以て稱せらる。明治四十一年本縣より篤行模範者として其功績を表彰せられたり。

青戸長之助君

八東郡生馬村大字東生馬

資性質朴にして克己心に富む幼より農事を好み明治十七年の頃該地方未だ窒素燐酸肥料の何物たるを知らざる時に當り自ら燐酸を東京より取寄せ實地試験の結果其稻作に及ぼす効果大なるを見て之れを衆に示し同志者と謀りて屢々農

會總裁宮殿下より綠白綬有功章を賜はり、其功績を表彰せられたり。

堀江國藏君

飯石郡飯石村大字多久和

資性緻密にして嚴正確實、其事に當るや熱誠、人に接するや懇切なり、多年飯石郡農會技手の職にありて熱心事務に盡瘁し、種々研讀を積み讀書を好み以て新智識の吸収に勉む。會て名和昆虫所に入りて昆虫學を研究し、又夏期休暇を利用して自家の新智識養成に心掛く。郡内稻種の改良の如き、氏の熱誠なる盡力により着々効果を奏し、龜治種の如きは一般に普及するに至り、漸時良種の普及を見るに至れり。暗渠排水肥料改良等を畫策して漸次一般に其實行を見るに至り、就中暗渠排水は縣下に於ける首位を占むるに至らしむ。其他果樹の栽培等氏の熱誠なる指導誘掖に由りて進歩發達を爲せるもの實に枚舉に遑あらざるなり。

松尾龜太郎君

海士郡海士村大字字受賀

資性温厚篤實にして品行方正、海士村農會の設立あるや其技術員となり、爾來勤續今日に至る、其職務を執る忠實にして懇篤、農事の改良、耕耘方法等に付て盡瘁する所あり、各部落に青年會の開設あるや、必ず臨席して熱心講話、農業の發達を促し、又部落に青年會試作場を設けしめ、之れが指導獎勵を怠らず、爲めに農事の改良進歩を見るもの尠からず、風紀の改善に關しては身を犠牲として之れに當り、孜孜勉勵、毫も倦怠の色なし、海士村農界の模範を以て稱せらる。明治四十一年本縣より篤行模範者として其功績を表彰せられたり。

青戸長之助君

八東郡生馬村大字東生馬

資性質朴にして克己心に富む、幼より農事を好み、明治十七年の頃、該地方未だ窒素磷酸肥料の何物たるを知らざる時に當り、自ら磷酸を東京より取寄せ、實地試験の結果、其稲作に及ぼす効果大なるを見て、之れを衆に示し、同志者と謀りて屢々農

事講習會を開き、多數の講習生を出し、東京より優良なる種苗を購入して之れが普及を圖り、熱心斯業の改善に努めたり。稻正條植に關する諸器械の使用法、害蟲驅除法の實施等人の記憶に存する所なり。其村農會長となるや、自ら村内各區を巡回して指導獎勵に努め、模範堆肥場を設置し、村内青年の風紀改善を謀らんが爲め實業青年會なるものを設くる等氏の盡力によりて全村風紀の改善、農事の改良せしもの尠からず故に明治四十二年大日本農會總裁宮殿下より名譽賞狀を賜はりたり。

曾田市三郎君

大原郡海潮村大字山王寺

氏は資性溫厚、年少時代より身を公務に委ね、現に村長、村農會長等其他の職にありて熱誠勉勵十年一日の如し。而して夙に興農の志厚く、耕地整理及暗渠排水等を獎勵し、農事に關する講習講話會を開き、農民の智識啓發に努め、肥料の増施を獎勵して農作物の増收を圖り、米麥種子の鹽水選を獎勵し、害蟲驅除豫防法等を講じ、養鶏の獎勵をなし、立稻品評會、牛馬共進會、蔬菜品評會、蠶品評會等を機宜に應じて

開き、稻苗正條植、短冊苗代施設の獎勵、果樹栽培の獎勵、桑園の改良、養蠶の獎勵、其他畜牛の改良、蕃殖より實業教育の施設に至るまで、氏の盡瘁に依りて同地方の利益を蒙むりし事實に多大にして、其功績は一朝一夕に之れを延べ盡くし難し。明治四十一年大日本農會より名譽賞狀を授與せられ、其他各所より賞狀賞品を受けたる事實に牧擧に逸あらざるなり。

眞先啓太郎君

能義郡廣瀬町大字廣瀬

資性溫厚堅忍にして品行方正、好みて讀書をなし、新智識の啓發に心掛く、明治二十九年仁多郡の書記となりし以來十有三年、専ら勸業事務に執掌し、農界に盡せる功勞尠からず、又傍ら能義郡農會の要職にある事十數年間、同會が今日の如く隆盛に赴けるは氏の力によるもの多しとす。能義郡は古來米作を主とせり、由て田地の改善を緊要の事とし、明治卅二年暗渠排水の工を起すを獎勵し、全三十六年には多くの地主の反對ありしにも不拘、氏は耕地整理の利を説き、百方勸誘、郡内耕地整理の反別三百三十餘町歩に及び、目下計畫中のもの約三百五十町歩あり。又農家

副業として製紙、製炭、畜産業等の奨励に努め、農事の改良には適當の人材を要すべきを主張して、學生學費補助規則を提議し、其採用を得て各地に修學せしめし、學生三十二名あり、以て一般農家の智識を進めし事多大なり。其他日露戰役當時に於て自ら東奔西走、國民愛國心の勃興せるに乘じ、農事改良の必要を説きて之れが實地に着手せしめ、爲めに郡内農事の改善上、更に燦然たる光輝を加へしめたり。各地を視察しては、自個の學ぶべきはとりて以て之れを郡内に實地應用する等、氏の一身を犠牲にして農事改良に盡瘁せる功勞實に枚舉に遑あらざるなり。

岡 山 縣



東 三 省 君



岡 崎 証 次 郎 君



相 田 嘉 三 郎 君



小 山 益 太 君

岡山縣

岡崎 征次郎君

御津郡芳田村大字万信

夙に農村の風紀改善及び農事の改良に留意し、種子の選擇、短冊形苗代の設備、苗代の正條植、害蟲驅除、豫防、綠肥栽培獎勵、推肥舍の改良等衆に率先して之れを行ひ以て他に其範を示せり、又氏は明治十八年より全二十三年迄及び二十七年より現今に至る迄本縣會議員となり、全三十二年より本村農會長として今日に至れり、其他郡農會幹事、評議員其他の要職にあり、熱誠以て其職責を盡し、其功績洵に顯著なるものとす。

小山 益太君

赤磐郡可眞村大字稗田

夙に果樹栽培の利益あるを認め、一般農家の副業として之れが栽培を獎勵せん

岡山縣



如 信 好 君



大 岡 熊 次 郎 君



佐 野 篤 太 郎 君

とし、自ら試作地を設けて葡萄、桃、梨等を植へ、當時に於ける幼稚なる栽培法をして熱心研究の結果次第に功を奏するに至らしめたり。今日に於ては全村果樹を栽培せざるものなきの盛況を呈し、現今果樹の栽培に於て、全國屈指の位地にあるは蓋し氏の盡力與つて力あるなり。猶ほ氏は一般農事の改善を圖りて、肥料共同購入、勤儉貯蓄、業補習教育の實施等斯界に貢献せる功績亦尠からざるなり。

藤原元太郎君

兒島郡八濱町大字八濱

資性温厚篤實にして夙に公共の事業に盡瘁し、明治二十五年十月選ばれて八濱村々長となり、續て町長に就職し、町農會長を兼ね、滿期毎に再選して今日に至れり。其間農事其他の事に付て、盡力せるもの甚だ多く、殖林を奨励し、地境を増築し、果樹を栽培し、米種の改良を企圖しては、明治三十四年山口縣より稻種を購入し、無代價を以て之れを當業者に配布し、試殖せしめしに其結果甚だ優良なりしを以て、漸次一般に良種を増植するに至り、又小作米品評會の必要を唱導して、小作人の保護獎勵に努め、其功勞洵に顯著なりとす。氏は現に縣會議長、岡山縣韓國農業獎勵組合

理事長、岡山縣農會評議員、兒島郡農會副會長等の公職にありて、銳意熱誠其職責を盡くしつゝあり。

櫻井彌壽二君

和氣郡日笠村大字日笠下

資性温厚にして夙に農事に志し、力を公益に盡し、苟も事の改善すべきあれ、百難を排して事に當り、其を完成せざるなし、郷黨仰て模範となす。明治三十年始めて日笠村に農會設立せらるゝや、其會長となり、翌三十一年郡農會の設立、及び全三十二年縣農會の設立に際して共に其代表者となり、勵精多年功績甚だ顯著なりとす。其事業中畜牛の改良及び産米の改善は其重なるものにして、畜牛にありては外國より良種牛を輸入して其繁殖を圖り、米に於ては俵裝の改善を奨励して、從來蒙むりたる米量の減耗、脱粒等の損失をなからしめ、米質を改良して和氣良米の名稱を得、其聲價を揚げ、防長改米を凌駕するの成效を得たる等、實に氏の盡力與つて力あるなり。其功勞洵に偉とすべきなり。

柳井重宣君

上房郡松山村

氏は明治九年四月始めて居村松山村戸長となりし以來、全十七年岡山縣會議員となり、全廿三年には縣會常置員となる。爾來各種の公職及び會社銀行等の重役として世人の推重するところとなる。而して氏は多くの公職の爲めに常に多忙を極め居るに拘らず、多年畜産事業に熱心し、其改良發達に最も腐心し、又普通農事の改良進歩にも留意すること深く、熱心以て他の誘導に努め、自ら各種の事業を企て、小作者を愛撫するは農業振興の方法なりとして、之れを厚く待遇し、又岡山縣米穀検査法の實施に當りては、夙に獎勵米を給與し、小作者を獎勵して米穀の改良を圖りたる等、斯業に貢献せること甚だ多く、其功績洵に偉大なり。

東三省君

川上郡高倉村大字田井

夙に農事に關する公共事業には衆に率先盡力し、諸種の團體を組織し、其發達に努め、普通農事は勿論畜産養蠶果樹栽培等に大に改良を加へ、品評會、共進會等に於

て賞品を受けたる事數十回の多きに及ぶ。町村農會の開設以來村農會長として終始一貫、農事の發展に努め、又明治三十三年川上郡農會創設せらるゝや撰ばれて其會長となり、全三十九年二月まで其職にあり、銳意劃策大いに其擴張に努力し、現在に於ては副會長の職にあり。明治三十七年高倉信用組合設置以來、理事の職に就き、好結果を收めつゝあり。其功勞洵に多大なるものあり、以て他の模範たるべきなり。

相田嘉三郎君

後月郡西江原村

夙に養蠶事業に留意し、明治五年始めて但馬より桑苗を求めて移植せり、之れ本縣に於ける桑苗移植の嚆矢にして、翌六年養蠶業に従事し、爾來三十有八年間一日の如く養蠶製糸業の發展に努め、幾多の失敗に遭遇し、一時は殆んど其家産を蕩盡せるの悲運に會へるも、終始一貫公衆の利益を増進するに熱中し、更に自己が財政の如何を省みず、銳意斯業の發達を企圖せるより、遂に今日の如く盛大を見るに至りしなり。氏が斯業に關し率先經營せるもの多き内に、蠶兒飼育方法蠶卵紙製造

桑苗栽培法、蠶糸製造等の改良及び精良桑苗の無代配付、蠶兒飼育に關する冊子の寄贈、養蠶製糸傳習生の養成の如き其重なるものにして、其他の普通農業進歩の上にも改善を施せしもの尠からず、郡村農會事業の活動を獎勵し、現に後月郡農會副會長の職にあり、其功勞洵に偉大にして大いに推奨すべきなり。

畑 信 好 君

苫田郡西苫田村大字山北

夙に桑樹の栽培に従事し、地方殖産業の發達に深く留意す。明治十六年畑地の荒廢せるものを耕して桑苗地となし、専ら養蠶を獎勵し、全廿一年には京都滋賀、三重奈良、大阪兵庫等の各地の蠶業を視察し、益々其改善を實行し、教師を聘して其の指導を受け、人造肥料を購入して肥料試験を行ひ、害虫、害鳥の驅除溜池の新設等、斯界に貢献するところ甚だ多く、現に西苫田村農會會長、苫田郡農會代表者、津山製糸合資會社常務取締役等の榮職にあり、孜々として其職に盡瘁しつゝあり、其功績洵に顯著なるものあり、大いに推奨すべきなり。

大岡熊次郎君

勝田郡高取村大字池ヶ原

夙に農事の改良に志し、農會令發布以前既に農會を組織して農事の興隆を圖り、村是調査を行ひ、信用組合を起し、勤儉貯蓄を獎勵し、稻作系統的品評會并に米穀其他農産品の品評會を開催し、斯業の改良發達に資すること深く、養蠶業を獎勵し、教師を聘し、廣く傳習生を募集して育蠶の實習及び學理を攻究せしめ、年々多數の講習生を出すに至り、又縣會議員、各種組合會長、農商山林衛生等各團體の會長、評議員、幹事等の公職は實に枚擧に遑あらず。現に勝田郡農會副會長及び郡會議員の榮職にありて、銳意斯界の爲めに盡瘁しつゝあり、其功績洵に顯著にして他の模範たるに足る。

佐野篤太郎君

真庭郡勝山町大字月田

資性篤實、温厚、年十八歳なるの時、副戸長の職に就きし以來、今日迄幾多の公職に従事し、熱誠其職に盡し、治績見るべきもの甚だ多く、勲業、殖林、教育、衛生、其他諸種の

公共事業に盡瘁して貢献せるもの真に尠しとせず。明治四十年六月勝山町農會長に當選し、孜々として農會諸種の事業に執掌し、縣會議員各種品評會委員及び審査員、岡山縣地方森林會議員等の公職に就きて、斯界に貢献するところ多く、明治二十四年月田村長となりては大いに村治に盡し、其罷むるに及ぶや、在職中の功勞に依り永く長者の禮遇を用ひ、特に金參百五十圓を贈られたり、其他氏の功績により木杯感謝狀及び金圓を贈られたる事甚だ多し。



佐藤 一 君



龜山 詮 助 君



木村 關 次 君



早川 千 助 君



井關 保 次 君

廣 島 縣

六一

廣 島 縣

龜 山 詮 助 君

甲 奴 郡 矢 野 村 字 矢 多 田

資性温厚篤實にして、生來農を好み、衆に卒先して諸種の作物耕種法を改良し、勞力經濟を圖らんが爲めに改良農具を使用し、農産品々評會を開設しては之れを衆に示し、専ら新智識の養成に努力し、事の改良すべきあれば衆に先立ちて之れを試み、農事の改良進歩に貢献せるところ頗る多し、其功績甚だ顯著なるの故を以て甲奴郡農會名譽會員に推薦せられ、明治三十九年大日本農會總裁宮殿下より名譽賞狀を贈與せられたり。

佐 藤 壽 一 君

芹 品 郡 服 部 村

氏は夙に農事の爲めに盡し、事に當りて熱心誠實、資性温厚篤實なれば郷黨の間

廣 島 縣



野 澤 三 郎 君



熊 野 周 右 衛 門 君



平 四 喜 代 平 君



坂 井 定 一 君

六二

に最も重んぜらるる明治三十三年より村農會の事業に關與して、一意専心農事の改良に盡瘁し、各地の農事試験場等を視察し、全卅六年第五回内國勸業博覽會を視察して、改良農具其他農事上百般の調査を遂げ、最も心を米作の改良に用ひ、模範的試作をなし、有志者に農事改良の忽諸に附すべからざるを説き、或は米種を一定ならしむる爲め、全三十六年多年試験の結果得たる改良米最大坊壹石を廣く有志者に分與したる等、終始一貫斯業の爲めに盡して更に怠る事なく、其他害虫の發生に際しては、卒先之れが驅除豫防を實施し、其功績洵に顯著なるものあるに依り、明治三十九年には大日本農會より賞状を贈與せられ、其他各品評會共進會等にて賞状褒賞等を贈られたる事甚だ多し。

加納利源太君

神石郡高光村

明治二十七年父君の日清戰爭にて戦死せる時、年甫めて九歳當時已に温良至孝の譽あり、小學の科程を終るに及び母を助けて専ら家道を修め、幼妹を導き孜々怠る事なく、眞に郷黨青年の魁魁たり。夙に農事の改良に志し、躬ら養蠶の研究に従

事し、後、高光、古川兩村の稚蠶共同飼育の教師となり、熱誠以て衆を益する事多く、又乾燥場を設けて、葉煙草改良を企て、堆肥舎を置きて、製肥の進歩を圖り、其他綠肥の栽培、畜産の蕃殖、或は山林の整理、田圃の排水等一として力を盡さざる事なし、其功勞顯著にして、最も推奨に價すべきなり。

木村 關

乃美村

資性質朴にして、夙に農事改良に志し、一貫専心其改善發展を圖り、土地の改良より、撰種耕耘、或は山野の改劃に至る迄、一として之れを行はざるなく、殊に共同苗代、稻正條植、堆肥改良の如きは衆に率先し、之れが實行に従事し、他に其模範を示して、地方農民の誘導に努め、地方の招聘を受けては、其研究せるところを講演して、地方農事上に貢献を與へ、産業發達の唯一の捷徑として、品評會開設を企圖し、有志者を勸誘して之れを實行し、勞力の經濟を圖らんが爲め、改良農具を用ひて他に其使用を奨励せる等、其功勞甚だ多大にして、明治三十九年には大日本農會總裁宮殿下より名譽賞状を賜はりて表彰せられ、其他の賞状木杯等を受けたる事甚だ多し。

井 關 保 次 郎 君

安 佐 郡 三 入 村 大 字 下 町 屋

資性温厚幼より農業を好み、身を持する勤儉素朴、夙に農事改良に志し、米麥種子の鹽水撰、寒水浸、苗代短冊正條植等を行ひ、各地を視察して研究に資し、良種を地方より取寄せて其成績良好なるものは之れを地方農家に奨め、各種肥料に付ては施用利害得失の研究、果樹栽培、綠肥栽培、採種田設置、殖林、堆肥舍の改築、堆肥の改良、蔬菜類の改善、農具の改良等、何れも意を用ひざるはなし、又其收穫米の如きは米質の善良なると、乾燥調製の良好なるの故を以て、何れの時に販賣するも普通相場より高價に賣却し得、各品評會共進會等に於て褒賞を得たる事尠ならず、以て他の龜鑑たるに足るべきなり。

早 川 千 助 君

雙 三 郡 三 良 坂 村 大 字 三 良 坂

資性温厚篤實にして専ら養蠶業に就き盡瘁すること厚く、荒蕪地に投資して以て桑園を起し、一面苗木を造り之れを安價にて分與し、且つ秋蠶の改良を爲し、又蠶

種に就ては特に意を注ぎ最も他の信用を博せり、又同村に殺蟪場設置の事に就きては専ら力を盡し、斯業の發達を計ると共に益々其有利の事業なる事を示せり、同村今日の發展は氏の力による事甚だ大なり、其功績洵に顯著なりとす。

野 澤 富 三 郎 君

山 縣 郡 上 殿 村

資性温厚篤實にして少時より農業に従來し、大麻栽培及び茶業に専ら力をいたせり。常に細密なる思慮、周到なる注意を以て其改良に志し、教師を聘して講究する所あり、又各地の状況を視察して自家の研究に資し、明治三十年三十一年の兩年間に於ては農商務省農事試験場山陽支場より麻栽培試験を委托され、各種の試験に従事し其成績を地方當業者に示し、参考に供し、製茶業にありても従來の製法を改良し、明治十九年三重縣下に栽培せる印度産の茶種品質佳良なるを開き、私財を投じて該種子を購入し、之れを地方篤志家に頒與し、屢々茶業組合の要職に擧げられたる等、地方斯業の爲めに熱心誠實以て貢獻したる所實に尠ならず、其德望郷間に高し。

平西喜代平君

賀茂郡中黒瀬村

資性質朴にして少時より農事に盡し、熱誠勤勉蓄財に志し、其を以て田地荒野を求め、一意専心土地の開墾に従事し、耕地整理に於ては他の模範となり、其他灌漑、排水溜池の新設等氏の手に依りて成功したる事業枚舉に遑あらず。往年林本縣一部長地方巡回の途次親しく氏の實蹟を訪ね賞揚して措かず、即ち氏の使ひ古びたる鍬を携へ歸へられ、以て斯道獎勵の一端とせらるゝの名譽を得たり。

熊野 周右衛門君

安藝郡畑賀村

性卒直にして自信の念強く、且つ進取の氣象に富む、衆に卒先して農事改良に志し、種子鹽水撰、稻正條植等に就ては久しき以前より之れを實行し、其方法結果等の模範を他に示して之れを誘導し、又個人の獎勵は其効薄きを思いて同村農會に謀り、農會事業として之れを獎勵せしめ、麥奴豫防及病蟲害の驅除豫防等は自ら案出せるの新法を用ひ、肥料施用の注意蠶病豫防消毒施行の獎勵、農事教育の普及等其

功勞洵に顯著にして大に推奨すべきなり。

坂井完一君

世羅郡神田村大字上徳良

資性温良恭謙にして快活慈愛に富み、父母に對し孝養心厚く、常に勤儉力行自ら農夫と偕し農耕に従事し、公共心に富み、實財を投じて農村の興隆を圖り、孜孜として怠るところなし。其功蹟中最も顯著なるものは、耕地整理にして明治三十七年秋季に於て第一回の工事面積二十四町五反歩、翌三十八年第二回起工、其面積六町五反歩餘、全四十年を以て終了せり。其他明治二十九年には綠肥栽培、全三十三年には殖林に着手し、全三十七年には稻作の正條植を實行し、細民の爲め人造肥料を購入して廉價に分與し、貯金組合青年會、産業組合等に斡旋し、自家小作米品評會、小作人獎勵基本財産蓄積等、氏の盡瘁に依りて効果を擧げたるもの甚だ多く、其功蹟洵に顯著なりとす。

和歌山縣



梅田 仲之助君



原 桑之助君



寺島 文實君



名出 平四郎君



御前 七郎右衛門君



鬼田 子右衛門君

四三

和歌山縣

桑原林之助君

海草郡龜川村

村農會組織以來之が會長となり以て今日に至る。其の間終始一貫克く會員を指導して農事の改良を奨励し、各般の成績見るべきもの尠からず爲に村農會の効果を一層顕著ならしめ以て他の模範とならしむるに至りたる等、其の功勞洵に多大なり。

勳七等 木本主一郎君

海草郡木本村

夙に農事の改良を圖り熱誠以て農民を指導誘掖し、殊に力を蠶業の發達に用ひ、百方盡瘁大に之が効果を收め、基年ならずして其の産額従前に倍加するに至りたり、其の功勞實に大なりと云ふべし。

和歌山縣



君 郎 太 幸 谷 津



君 門 衛 左 太 下 山



君 郎 一 茂 井 宇



君 助 之 富 田 脇



君 作 源 田 阪



君 助 英 野 野

四四

名出平四郎君

那賀郡名平村

多年村農會長の職に在りて其の任務を竭し、夙に農事改良の必要を認め自ら他府縣の状況を視察し其の長所を取りて之を實行し、又大に園藝の有利なるを説きて之を奨励し明治三十七年以來毎年農産物品評會を開催して米麥果樹蔬菜の品質改良に資し、終始鞠躬斯業に精勵せらる。其の功勞洵に多大なり。

勳八等 寺田鬼子右衛門君

那賀郡小倉村

多年村農會長の職に在りて其の任務を竭し、常に農村風紀の改善を圖り勤儉貯蓄の美風を涵養し農事改良の必要を鼓吹し、殊に力を害虫驅除に注ぎ前後二回名和昆蟲研究所に入りて講習を受け以て農民を指導し又屢品評會を開催して斯業の改良を奨励する等其の功勞洵に多大なり。

梅田仲之助君

郡橋本町

夙に地方農事の不振なるを嘆じ銳意之か改良を唱導し殊に養蠶事業の最も農家副業に適せるを認めて百方之を奨励し、又地方農民の共同的精神に乏きを慨きて産業組合を組織し産業の發達を圖ると共に専ら公共心の養成に努め遂に他に卒先して大字全部の共同苗代を設置するに至らしむる等其の功勞洵に多大なり

恩 地 文 質 君

伊都郡大谷村

多年實業に精勵し常に農事改良の方法を講して範を他に示し、殊に力を蠶業の發達に致し盛に飼育に努め、農家の子女を收容して養蠶の方法を傳習し又自家の蠶室を伊都郡農會に提供して蠶種製造の用に供し百方畫策郡農會を補翼し遂に全部の蠶種を一定せしむるに至りたる等其の功勞擧げて數ふべからず。

御前七郎右衛門君

有田郡保田村

多年柑橘事業の改良に留意し廣く良種を求めて之が普及を圖り以て斯業に益することと努め明治三十八年紀州有田柑橘同業組合の成立するや推されて之が組長となり以て今日に至る其の間克く多年の積弊を打破し専心一意柑橘業者の福利を増進することを怠らざる等其の功勞洵に多大なり。

山下 太左衛門君

有田郡藤並村

明治二十八年縣下に卒先して村農會を組織し推されて之れが會長となり以て今日に至る其間常に農事改良の奨励誘導に努力し特に米麥作の如きは廣く種子を他に求めて之を試作し其結果良好なるものは無料配付を爲して之れが普及を圖り家資豊富なりと雖も躬行精勵常に儉約を守りて範を衆人に示す等其の功勞洵に多大なり。

勳七等 脇田富之助君

日高郡切目村

多年公職に従事し常に農事の改良に盡す明治二十二年以來稻田年々螟蟲の害を蒙り爲に收穫を減すること多量なるも農民之を土質の不良と氣候の不適とに歸し毫も驅除豫防の必要を覺知せず隨て農業漸次不振の狀況に陥るを慨し刻苦^①精勵百方奨励の策を講じて之が驅除を實行せしめ漸く被害を減じて遂に完全なる農作を爲すに至らしめたり。其の他畜産を奨励して耕牛の増加を圖り桑園を増殖して養蠶の普及を勧め拮据電勉農事の發達を企畫する等其の功勞洵に多大なり。

勳七等 沼野英助君

日高郡名田村

多年公職に従事し常に農事の改良に精勵す。明治二十四年以來稻田屢螟蟲の害を蒙り收穫皆無に終るも農民之を土質の不良と氣候の不適とに歸し毫も驅除豫防の必要を覺知せず隨て農事年に衰頽に陥り殆ど救濟すべからざるの悲境に

沈淪せしを慨し、刻苦精勵極力害蟲驅除の必要を説きて之が實行を督勵し、漸く被害の程度を減じて遂に完全なる農作を爲すに至らしめ、又他に卒先して大字全部の共同苗代を設置せしむるに至りし等其の功績實に大なり。

澁谷幸太郎君

西牟婁郡上芳養村

多年公職に従事し常に農事の改良を圖り精勵怠ることなし、殊に地方畜産事業の振はざるを慨し、卒先自費を投じ優良なる種牡牛を購入して播種を奨勵し、牛畜蕃殖の改良方法を研究し、廣く當業者を指導誘掖し、爲に地方産牛の聲價を發揚するに至らしめたり。其の功勞洵に多大なりと云ふべし。

宇井茂一郎君

西牟婁郡三栖村

夙に地方養蠶事業の萎微振はざるを嘆じ、進んで之を救濟せんとし、自ら飼育の方法を研究し、桑園を拓きて良種を栽培し、又屢々郡内を巡遊して斯業改良の必要

を説き熱心至らざる所なく、遂に郡内蠶業の面目を一變し、比年産額の激増を見るに至らしめたる等、其の功勞の多大なる數ふべからず。

大野辰平君

東牟婁郡下太田村

多年公共事業に従事し、常に殖産興業を以て己の天職となし、數十年の久しき毫も倦怠の色なく、明治十五年始めて稻田正條植の利便を悟り、坂口源作氏等と共に之を實行して範を他に示し、其他耕耘に栽培に肥料の改良に害蟲の驅除豫防等、指導誘掖至ざる所なく、又自費を投じて楡樹の苗木を配付し、之が栽培を奨勵し、或は溝渠を改修して地方の福利を増進したる等、其の功勞洵に多大なり。

阪口源作君

東牟婁郡宇久井村

夙に農事の改良に精勵し、卒先模範を示して農民を誘掖啓發し、明治十五年大野辰平氏等と共に始めて稻田正條植を實行して漸次に之を普及せしめ、其他桑園の

増殖に養蠶の奨励に園藝果樹の栽培に、勉めて地方農業の發達を鼓舞し、數十年の
久しき毫も倦怠の色なく、其の功勞洵に多大なるものあり、以て他の模範たるべし。



大 平 佐 次 郎 君



林 寅 藏 君



岡 部 虎 吉 君



森 苞 樹 君



西 田 定 一 君

德 島 縣

六 三

德島縣

林寅藏君

名東郡八萬村大字沖濱村

資性温良着實にして夙に農事改善に盡瘁し、農界に於ける積弊を一掃し、地方生産業の發展を促すを以て自己の天職となし、斯業の智識研鑽に之れ努め、各府縣試験場を視察し、彼我の長短を研究し、農用器具の新案に腐心し、講習會等に出席しては米麥作の改良に對し大に講ずる所あり、共同苗代、正條植及び各種肥料配合試験を自家の耕地に於て實驗し、其効果を一般農家に知らしめ、其結果當地方收穫産額高に著しき増收を見るに至れり。常に餘暇を以て讀書自ら其知識涵養に努め、村内に農德會を設立し、風紀及農事改善に努力し、公益を重んじ私財を投じ、郡内生産業の發達に盡瘁せし事績、實に枚舉に遑あらず。明治卅九年對時局農事獎勵事項の實行成績顯著なるの故を以て、大日本農會總裁宮殿下より表彰せられしを始めとし、知事其他より賞盃等を授與せられたる事多し。

德島縣



川眞田萬太郎君



藤井儀平君



大久保龜吉君



井上伊三太君



内田道太郎君

六四

大平佐次郎君

勝浦郡勝占村大字西須賀村

氏は夙に農家子弟の教養に留意し、農閑を利用して農事百般の事項を研究指導す。郡村農談會員、郡勸業會々頭、郡研農會長、縣農事會員、郡村農會議員並に全會長、縣農會議員等の職に推され、今尙在職せり。其他各所に開設せる共進會品評會等の審査員、評議員に推擧せられ、常に農事改良に全力を傾注す。勝占村内低地の常に滯溜水漲陸して農民苦心する所なるを見ては、明治三十六年卒先之れが排水の議を唱へ、村長を補佐して其成功を期し、今日之れが恩澤に浴するの面積百八十餘町歩の多きに及べり。現に村會議員、郡參事會員、郡會議員、郡會議長等の要職にあり、百般の公共事業に盡瘁するところ甚だ多し、眞に罕に見るの人材なり。

岡部虎吉君

那賀郡橋浦村

氏は資性温厚篤實にして夙に殖産業に志篤く、精勵怠りなく研究を重ね、實踐躬行改良に努め、衆を開發誘導すること多年、其功績顯著にして衆の模範として嘉賞

すべきものなり。

西田定一君

海部郡川西村

夙に村内の名譽職に選ばれ、農事の改善に盡瘁するところ多く、稻作の風害、水害、蟲害等に對して其豫防驅除等に關し研究するところ多く、其功績洵に顯著なり。農會の一員として普通農事は勿論、桑園蠶業、柑橘、菓樹等の栽培より、畜牛の改良、蕃殖肥料の共同購入、肥料の改善、害蟲驅除、農産物肥料共進會其他村内兒童教育事業、灌漑稻種の撰擇等其功勞實に數ふるに遑あらず、眞に得難き篤志家と云ふべし。

佐野勇次郎君

名西郡

氏は祖先より農事を繼承し、耕作地貳拾餘町歩を有し、農事に熱心なることは博覽會及び共進會等に於て授賞せられたること、拾數回に及べるを見て知るべし。近來本村特産物なる藍の賣價下落し、收支相償はざる傾向あるを見、人造肥料の最

も有利なることを慮り、附近村内に卒先して之れが實施をなし、氏の小作人は勿論一般農作民に指導獎勵し、漸次其有利なるを知らしむるに至り、現時の如く一般に普及するに至りたり。農會令の發布あるや選ばれて之れが議員となり、副會長の職にある事多年、又は郡農會員に選ばれ、改選期毎に再選して今日に至り、三十年間殆んど一日の如く、農事に貢献せられたるもの實に尠からず。明治四十年大日本農會總裁宮殿下より賞狀下賜の光榮を得たり。

森 苞 樹 君

板野郡川内村大字別宮浦村

氏は明治十年以來各種公共名譽職にありて農事の改善公共事業に盡瘁す。明治卅四年頃他に卒先して他府縣の農業視察をなし、耕耘施肥種子改良を唱導し自ら良種を農家に分與して其普及を圖る。次いで卅九年稻作の改良に志し、模範場を設置して耕種肥培の法を研究し、其得るところを廣く農家に知らしめ、同志と謀りて農談會を起し、農事の研究智識の交換に資し、灌漑の便を圖り、田植定規除草器を作りて頒與する等農事百般の事業に盡瘁し、其功績真に見るべきもの多し。大

日本農會總裁宮殿下より有功章を賜はりて其功勞を表彰せられ、其他各種公共團體より授與せられたる賞狀等甚だ多し。

藤 井 儀 平 君

阿波郡林村大字東林村

明治廿五年以來各種共進會品評會等の出品獎勵委員審査員等を囑托せられ、農會其他各種の名譽職に就かれ、農事上に於ける各種改善に付ては最も熱心にして殊に米作改良創始の際に當り、卒先模範者となり、正條植、施肥、害虫驅除等を一般農家に示し、指導啓發に盡くされしところ實に尠しとせず、其功績洵に多大なり。

川 眞 田 萬 太 郎 君

麻植郡鴨島町大字鴨島町

氏は未だ齡三十を過ぎしばかりなるに、資性温厚篤實にして衆に卒先農事に留意し、農學の修養に志し、縣設農事講習所を修得し、農事試験場に通學し大に得るところあり、其應用として藍、米、麥其他園藝物に對する肥料試験及種類等の調査に従

ひ熱心研鑽せる結果其成績の良好なりと認めたるものは専ら之れが普及に努力し、同時に種子の配布と交換を謀るのみならず、就中肥料の配合上に付てはより多くの研究を積み、之れを諸作物に實施し、磷肥の如きは常に多木肥料を専用し、其効果見るべきもの尠なからず。其の他養蠶事業にも熱心にして、大に農家の副業を奨励せる等、其の功績の偉大なる洵に罕に見るところにして、郡農會代表者全評議員各種品評會等の審査員、農事實行組合長或は郡農會施設の農場主任等の職に就かれたり。

大久保龜吉君

美馬郡半田村大字半田村字逢坂

明治廿一年以來米作改良に熱心し、其當時山口縣下に有名なりし白玉種を取寄せ、米質を改良し、種子は皆鹽水撰となし、之れが普及を計り、共同苗代を奨励し、施肥の方法を講究し、害蟲驅除豫防を勵行し、葉煙草培養の改良に付て盡瘁するところあり、殊に養蠶に付ては非常に力を用ひ、其効果大に見るべきものあり、其他自ら教師を聘して農事百般の方法を研究する等、農事に盡くせるの功勞は眞に没すべからざるなり。

らざるなり。

内田道太郎君

三好郡三野村大字勢力村

氏は夙に公利公益のために盡瘁し、明治二十二年選ばれて三野村長となり、全時に三好郡農談會副會長を兼務し、會長を助けて本郡農事改良を圖り、其功績實に尠からず。耕地整理を實行しては之れを遂行し、溜池を新設して灌漑の便を圖り、墾道改築に盡力して之れを成功せる等、其功績實に顯著なるものあり。明治卅九年三月大日本農會總裁宮殿下より褒狀を賜はりしを始めとし、郡農會其他より賞盃賞狀等を贈與せられし事數ふるに遑あらざるなり。

井上伊三太君

德島市大字常三島村

明治十三年名東郡に於ける農談會及び全二十五年德島市農談會に於て之れが會長に推選され、全三十四年六月農會令發布により德島市農會成立するに當り、之

れが會長となり農事百般の改善に盡瘁す。全卅八年害蟲驅除豫防上の功績により本縣知事より表彰せられ、次いで翌年三月對時局農事獎勵事業の實行成績顯著なるの故を以て大日本農會總裁宮殿下より褒狀を賜はりたり。



松本紋次君



小渡邊鏡君



野口伊右衛門君



星川盛一郎君



小倉通勝君



赤松勝馬君

愛媛縣

六五

愛媛縣

和田鹿太郎君

伊豫郡岡田村

氏は資性活達頗る公共心に富み、殖産興業と教育事業とは氏の最も力を用ふる處なり。嘗て小學校の教鞭を執り又舊里正、戸長、町村長の職に在り、村、郡、縣、農會議員又は役員となり、町村、縣會議員となり名譽職、縣參事會員等の公職を勤めたり。其間毎に農事の改良、進歩、教育の普及に貢献するを以て生命となし終始之を以て一貫す。之れが爲めに私財を投じ、身心を勞せしこと擧て數ふ可からず。明治十九年出淵村戸長の職に在るや、森林業に力を盡し、且つ地方特産の榿實の不良なるを嘆じ、自費を以て和歌山縣より良種を求めて之を一般に分與し、又果樹栽培の普及を獎勵し、嘗て柑橘、桃等を松前村の荒蕪地約二丁歩に試作して一般の模範を示せり。明治二十一年林遠里氏の農事改良を見、其改良法に就き自己の見る處を執て試作田を設け、永年繼續して農事改良の何物たるかを一般に示し、且つ稻作正條

、植短冊形苗代の如き灌水の淺少の如き利なるを認め自ら之を實施し、他を勸誘して今日に至れり。明治二十二年には始めて大津市より紫雲英の種子を移入して試作し、爾後一般に配布し今日あるを見たり、又居村地方濕田多きを患ひ、十數年前より排水工事をなし其成績良好なるを得、愛媛縣農會は特に之に對し獎勵金を交付したり。其他米質改良を主唱し、其組合の頭取となりて盡力し、或は又麥稈眞田、經木眞田並に其原料の栽培製作を計營したる等、其事蹟の見るべきもの甚多し。明治三十九年農事改良進歩獎勵の成績顯著の旨を以て、大日本農會總裁宮殿下より之を表彰せらる、其他教育に關する功勞に依りて旌表せられたること亦一再にして止らざるなり。

松本 紋次君

溫泉郡伊臺村

氏は資性硬直にして公共の念厚く、居常地方の農事、教育、交通の改良發達に力を盡すを以て畢生の業と爲す。嘗て居村より松山市に通ずる道路の險惡なるを患ひ、瀬戸風峠を開鑿するの事業を發起し、極力竣功に盡して之を完全せしが如き、又

氏が居村は山間の高峻地にして灌漑養水の缺乏せるを見るや、溜池工事を起して之を潤澤にし、爲めに陸田を水田と爲し、稻作に便ならしめ且、隣接地方の模範事業となせるが如き、或は、小學教育の振興に努め、校舎の新築を計畫竣功せしが如き、又地方農事を開發せしが爲め、去明治二十四年松山市外六郡農會の設立を贊畫して農事の改良進歩を謀りしが如き、氏の功績の大なる數ふるに遑あらず。其他農事上の大小事蹟の傳ふべきもの甚だ多し。尙氏は明治十七年農會長となりし以來、村長の職に就きしこと四回に及び、現に村長として自治に盡瘁しつゝあり。其他村郡會議員、村郡農會長、郡農會議員、縣農會議員等の公職に就きしこと一再ならず、其間勸業上に盡すこと一日の如く、其功績眞に少からざるなり。

佐々木 秀治郎君

西宇和郡宮内村

氏は温厚篤實にして郷黨の信頼厚く、去る明治二十一年西宇和郡伊方村々長に擧げられ、以來宮内村長、同村會議員、川の石村外四ヶ村組合長、西宇和郡會議長、愛媛縣會議員、村農會長、郡農會議員、縣農會副會長等の公職に就き、現に宮内村長、宮内村

農會長、愛媛縣農會名譽幹事等の職に在り。其間常に農事改良の獎勵に盡瘁すること十年一日の如く其功績少からず、氏が農事上の大小事蹟舉て算ふ可からざるも就中果樹栽培殊に柑橘中ネーブルオレンジの栽培に力を盡し、自ら柑橘園を經營して、以て地方農民に其栽培の範を示し、爲に同地方に於ける柑橘の生産は頗る多額に上り、且つ全國中優良品を出すに至りしは氣候風土の適當なるに依ると雖も氏の勸奨の功に依る處實に多大なりとす。尙氏は地方養蠶業の普及發達を希ひ共同養蠶組合を設置して之を獎勵す、其成績良好にして、爲めに大に斯業の普及發達を見るに至れり。

渡 邊 巍 君

周桑郡石根村

氏は去る明治二十九年以來村農會長、郡農會員同役員、縣農會員並に縣農會副代表者として今日に至るの、其間農事改良の獎勵に盡すこと少からず、立毛品評會、農産品評會を開設して地方農事の振興に資し、雇人獎勵法を規定して農業勞働者の弊風矯正を謀れり。就中氏は近時産米の粗惡に流れ俵裝の不良なるを慨し、地方

に於て屢次地主會を開き、協同一致此惡弊の救済に力を致さんことを謀りしも、其機の熟せざるを知り、退て自己所有地小作米品評會を開催し、小作人二百五十名中より、毎年十名の審査員を擧げ、以て優劣を品評せしめ、優等者に對しては多大の賞與を授與して、其改良獎勵を行ふこと茲に十年に及び、其成績良好にして小作人は爲めに發奮努力し、一般農事上に好結果を見るに至る、誠に地方に於ける地主の範となすに足れり、氏は尙郡會議長として郡立甲種農學校の設置に盡瘁すること少なからざりしなり。

明治三十九年二月大日本農會總裁宮殿下より表彰狀の御下付ありて其功績を表彰せられたり。

野口伊右衛門君

新居郡大生院村

氏は質朴なる農業家にして、自ら鋤犁を執るの餘暇農學の研鑽を怠らず、其研究の方法たる一に實地の應用に資せんが爲めにして、而て地方農家に其範を示し、農業改良の普及に盡すこと大なり。或は自己栽培の良種苗を地方農家に配付し、農

家子弟の教育に盡力して、斯業改良の資となし、害蟲の驅除、耕地整理に關する方法並に必要を記述し之を印刷して地方の篤農家に頒ち、或は灌漑用水泉を掘鑿して水源を求め、陸田を開拓して水田となし、以て耕地整理の有利なることを知らしめ、又國有山林百拾餘町歩の拂下を受け、之を村有となし、繼續事業として、造林の計畫を立てる等、其効蹟著しく、又自ら主唱となりて去二十九年西條町外十ヶ村農會を組織し、且つ同年新居、周布、桑村郡農會を組織せしむ、後新に新居郡農會を組織し、其副會長となり、以來村郡農會の役員となりしこと一再ならず、毎に農事の改良發達を謀り、且つ地方青年會を組織し、勤儉貯蓄の獎勵をなせる等、公益の爲めに盡瘁せるもの甚だ多し。

星川盛一郎君

宇摩郡津根村

氏は去る明治十四年以來村會議員となり、今尙其職に在り、且つ三十九年以降は同村長に擧げられて、終始村治に盡力す、又嘗て勸業委員を命ぜられ、愛媛縣農談會員に擧げられしことあり、明治三十三年三月宇摩郡農會員に當選したり。其他宇

摩郡會議員等の公職に在り、其間常に普通農事の改良、進歩、畜牛の改良に力を盡すこと一日の如く、去四十年には同村耕地整理の必要を認め、自ら委員長となりて之に従ひ目下其事業遂行中なり。而て氏の最も力を用ひたるは、殖林の事業なり、由來津根村は山林僅少なるの地なるを以て、氏の先考は、隣村の山林を購入して村有となし、以て村民の殖林に供したることありしが、氏は其意を繼ぎ、或は村民に山林を貸下げて之に造林せしめ、或は拂下げて個人の有となして造林せしめ、又四十年には自ら國有林の拂下を受け、杉、扁柏の植樹を計畫したり、而て氏は既に百餘町歩の造林をなして、以て範を示し、地方の造林經營普及上に貢獻する處多大なるものありとす。

加藤徹太郎君

越智郡櫻井村

氏は篤農家の出にして、父祖の業を繼ぎ、農事の改良、農村風紀の改善、勤儉貯蓄の獎勵等に心力を注ぎ、公益の爲めに盡すこと不尠、郡農友會を組織し、共同改良の機會を作り、或は農事視察團を作り、自ら引率して隣郡縣の農況を視察す、或は他に卒

先して新式農具を移入し其の普及に努め、又地方細農の子弟を集め、夜學會を開き、農業者として必要の智識普及を謀る、日露の役に當り國債の募集あるや、其の應募者を勧誘して多額の募債に應ぜしめ、之を以て日露戦争紀念貯蓄組合となし、其拂込は直ちに組合員の貯蓄として蓄積の意志を貫徹し、又四十年には勤儉貯蓄組合を起し、地方農家に貯蓄を奨励す、其他自ら奮て各縣又は韓國南滿洲等の農業を視察し、其得る處は則ち、地方の農業發達の資に供するを常とす、復た深く應用昆蟲學を研究して害蟲の驅除に力を致すこと久しく、嘗て越智郡技手を拜命し、以て郡内農事の改良發達に盡瘁せしことあり。氏は終始熱誠篤實事に當り其徳化の及ぶところ少からず、地方農界を益すること甚だ大なりとす。

小倉通勝君

喜多郡南久米村

氏は明治二十一年愛媛縣養蠶傳習所を卒業し、爾來養蠶業の爲めに盡瘁する。と少からず、未だ養蠶の何たるを知らざる南久米村に於て蠶業會を設立して、其勸奨に力め、他に其範を示し、且つ養蠶術の發達に對し、往々遅れんとする栽桑肥培に

注意して其憾なからしめたるは、其最も顯著たる効績なり。又廿一年以來良蠶種の普及に力を用ひ、自己養蠶術の技量を基礎とし、各地の實況を調査視察して、其長を採り、研究の結果、善良なる青熟種を擇び、良種を製造して、自他に供給したるが如き、其他耕地整理の必要を認め、他に卒先して地方農民を勧誘し、其模範的事業を計畫せるが如き、又殖林事業、畜産事業、普通農事等熱心改良増進に努め、之を以て専ら地方に範を示したるの功績は、没す可からざるものあり、尙氏は喜多郡農友會長、居村農會長等の公職の任に在りて、地方農事の進歩發達に貢献しつゝあり。

赤松勝馬君

北宇和郡泉村

氏は去る明治二十七年町村自治に關係し、常に農事の改良進歩に焦慮して、村内農民を指導せるも、容易に其緒に着かざるを見、寧ろ身自ら鋤犁を執り改良の範を示して、他を誘掖するに如かざるを感じ、三十三年泉村助役を辭し、以來多年一日の如く農業を經營して學理の應用、實地の研究に努む、爲めに地方農民を覺醒せしめたるの効少からず。就中自作地に米麥作の試作田を設け、化學肥料の應用、良種の

先して新式農具を移入し其の普及に努め、又地方細農の子弟を集め、夜學會を開き、農業者として必要の智識普及を謀る、日露の役に當り國債の募集あるや、其の應募者を勧誘して多額の募債に應ぜしめ、之を以て日露戰爭紀念貯蓄組合となし、其拂込は直ちに組合員の貯蓄として蓄積の意志を貫徹し、又四十年には勤儉貯蓄組合を起し、地方農家に貯蓄を奨励す、其他自ら奮て各縣又は韓國南滿洲等の農業を視察し、其得る處は則ち、地方の農業發達の資に供するを常とす、復た深く應用昆蟲學を研究して害蟲の驅除に力を致すこと久しく、嘗て越智郡技手を拜命し、以て郡内農事の改良發達に盡瘁せしことあり。氏は終始熱誠篤實事に當り、其徳化の及ぶところ少からず、地方農界を益すること甚だ大なりとす。

小倉通勝君

喜多郡南久米村

氏は明治二十一年愛媛縣養蠶傳習所を卒業し、爾來養蠶業の爲めに盡瘁すること少からず、未だ養蠶の何たるを知らざる南久米村に於て蠶業會を設立して、其勸奨に力め、他に其範を示し、且つ養蠶術の發達に對し、往々遅れんとする栽桑肥培に

注意して其憾なからしめたるは、其最も顯著たる効績なり。又廿一年以來良蠶種の普及に力を用ひ、自己養蠶術の技量を基礎とし、各地の實況を調査視察して、其長を採り、研究の結果、善良なる青熟種を擇び、良種を製造して、自他に供給したるが如き、其他耕地整理の必要を認め、他に卒先して地方農民を勧誘し、其模範的事業を計畫せるが如き、又殖林事業、畜産事業、普通農事等熱心改良増進に努め、之を以て専ら地方に範を示したるの功績は、没す可からざるものあり、尙氏は喜多郡農友會長、居村農會長等の公職の任に在りて、地方農事の進歩發達に貢献しつゝあり。

赤松勝馬君

北宇和郡泉村

氏は去る明治二十七年町村自治に關係し、常に農事の改良進歩に焦慮して、村内農民を指導せるも、容易に其緒に着かざるを見、寧ろ身自ら鋤犁を執り、改良の範を示して、他を誘掖するに如かざるを感じ、三十三年泉村助役を辭し、以來多年一日の如く農業を経営して、學理の應用、實地の研究に努む、爲めに地方農民を覺醒せしめたるの効少からず。就中自作地に米麥作の試作田を設け、化學肥料の應用、良種の

比較、病蟲害の驅除豫防、正條植等種々斬新の改良法を行ひ、以て地方に改良の範を示したるが如き、農家子弟に對し、簡易なる農事講習を課したるが如き、又副業として養蠶業の必要を認め、自ら養蠶に従事し、且つ共同養蠶組合を組織して、之を主宰したるが如きは、何れも好成績を現はし、著しく地方農事の進歩を促進したるの功績頗る多大なりとす。其他一般農事に盡せる大小事績は、擧て計ふ可らず、現今村農會長、郡農會評議員等の職に在りて、専ら農事に力を盡しつゝあり。

去る三十九年三月大日本農會總裁宮殿下より、其の功勞を表彰せられたり。

高知縣



吉川昌貴君



岡本壯司君



濱田鹿太郎君



飯田銀馬大君

六七

高 知 縣

岡 本 莊 司 君

幡多郡蕨岡村

夙に農事改良の普及を圖り、他に卒先して稻正條植、種粃鹽水選、米麥種の交換等をなし、尙肥料の共同購入、養蠶業、桑園の増殖、果樹栽培等を獎勵し、其功績洵に顯著なり。

和 田 柳 太 郎 君

高岡郡尾川村

農事改良に最も力を傾注し、傍ら蠶業の普及發達を圖り、模範的飼育を爲すと同時に桑園の増殖を促し、肥料共同購入を斡旋し、就中人工椎茸栽培法を發見し、其普及を圖り、林業の獎勵に力を盡す等、其功績多大なりとす。

高 知 縣



高 野 清 孝 君



和 田 兼 吾 君



坂 本 巖 君



岡 村 覺 太 郎 君

籾田銀馬太君

高岡郡佐川町

夙に農事に關して深く研究するところあり、最も力を其改善發達にいたす。即ち種子の選擇、肥料の共同購入等を獎勵し、傍ら農村風紀の改善を圖り、熱心種々の困難を排して漸次美風を養成し、以て衆人の尊敬するところとなる。其功績洵に多大なり。

吉川昌貴君

吾川郡森山村

氏は農事改良に最も意を注ぎ、種子の交換、肥料共同購入等を獎勵し、當業者をして其利の大なるを知らしめ、自然村民の信用を厚くし、斯業に貢獻するところ尠からず、其功績洵に顯著なり。

濱田鹿太郎君

土佐郡朝倉村

夙に農事に盡瘁し、其改善を圖ると共に種子肥料等の共同購入普及を獎勵し、裨益するところ尠からず、其功績最も顯著なり。

和田兼吉君

長岡郡長岡村

農事の改良進歩に最も留意し、種子交換、肥料共同購入等を獎勵し、良種を選定して自ら試作田を設け、他に其模範を示し、熱心盡力するところありしは、村民の大に徳とするところなり。

濱田昌勝君

香美郡前濱村

夙に農村風紀の改善策を講ずると同時に、農事改良の普及を圖り、種子の選擇肥

料の購入其他害蟲驅除の方法等總て共同して之れを行はしめ、又副業として養蠶業を奨励する等、其効果の見るべきもの甚だ多く功績洵に偉大なりとす。

岡村覺太郎君

安藝郡馬上村

氏は農事改良に意を注ぐこと深く、卒先して種子の交換、肥料共同購入等を奨励し、傍ら養蠶業を起し、着々改善の實を挙げしめ、大に村民の信頼するところとなり、斯業に貢献せるところ洵に尠からず、其功績顯著なりとす。

高野清幸君

土佐郡旭村

夙に農事改良の普及を圖り、種子の選擇、肥料購入等共同を以て行はしめ、果樹栽培は自身之れを試作し、以て他を奨励し、又農具を種々發明し、斯業に資するところ尠からず、其功績洵に顯著なり。

坂本巖君

土佐郡小高坂村

農事改良の普及發達を圖り、深く技術を修養し、着々として改善の實を挙げ、又養蠶業及家禽飼育上に就ても夫々専門家に付きて研究するところあり、熱誠他を奨励せるを以て、衆人の徳望甚だ厚く、農事に及ぼせる効果甚だ偉大なりとす。

福
岡
縣



川邊 精五郎 君



立花 寛治 君



平新 太一郎 君



武藤 徳藏 君

六
九

福岡縣

伯爵立花寬治君

山門郡城内村

身名門に生れ家に巨額の富を有せるも、農は富國の基にして最も貴ぶべきを思
い夙に農學を修め曩に農事試験場を開設し、自ら耕作し其種子を他に分配し又毎
年春秋の兩期に種苗交換會を開き、良種普及の便益を與へ、今や全部に各種善良の
種苗を得就中豆菽の佳品を産出せしは全く試験分配の結果にして、其功績洵に顯
著なるものとす。

安部熊之輔君

企救郡西谷村

資性質素勤儉にして意を農耕に傾注し、特に果樹柑橘類の栽培法を究め、苟も果
實の産地は治く遊歴視察し、其得る所は之れを衆に傳へて改善に資し、又能く至誠

福岡縣

七〇



大森武雄君



森部隆道君



大石琢磨君



小淵忠平君

公共の事業に奔走し、農耕の爲め改良を促したる事蹟枚舉に遑あらず、實に以て他の模範たるに足るべきなり。

武藤 徳藏君

三池郡岩田村

氏は岩田村の戸長及び郡村農會の役員となりてより以來、専ら力を公益に致し、從來農家經濟の動もすれば秩序を失するを憂ひ、之れ一に勤儉の氣風なく、不時に備ふるの用意なきに由るを慨し、自ら力行して其が救濟の道を講じ、土壤を改良して其有利なる實例を示し、水利の不便なるを見ては溜池の築造を企畫する等、農事諸般の施設に斡旋せる處甚だ多し、其功勞實に顯著なりとす。

川邊 清五郎君

筑紫郡那阿村

資性温厚篤實風に實業に志厚く、其公職に在るや常に殖産興業の發達を唱導し、之れが誘掖啓發に努む、其農事に就くや躬ら耕作に従事し、選種栽培施肥の改良を

實行し、或は棕桐の種苗、稻種及び芋苗の改良種等を分配して之れが普及を圖り、又農事改良進歩の遅々として振はざるは、農家經濟の漠として據る所なきに起因するものとなし、其弊を矯正せんが爲め自家の帳簿を整然ならしめ、五ヶ年又は十ヶ年の平均を現はし、洽く之れを地方農家に示して農事經濟の模範たらしめし等、其功績洵に顯著なり。

平 新太郎君

浮羽郡水繩村

資性篤實風に志を農事改善に傾け、意を選種栽培に注ぎ、廣く良種を分配し、洽く栽培の改良を促し、害虫の驅除豫防に勉め、明治十八年勤儉貯蓄の獎勵あるに當りて、晝夜其勞働時間を延長して其收益を貯蓄し、以て模範を他に示し、明治卅二年新穀献納米耕作の恩命あるや、感泣事に従ひ、百方研鑽の結果遂に其耕作法は縣下一般の採用する所となりし等、斯業に貢献するところ尠からず、其功蹟洵に顯著なりとす。

大 森 武 雄 君

築上郡友枝村

資性篤實夙に志を勸業に注ぎ、専ら力を公益に致し、道路を修築し、池溝を開き、交通灌漑の便を謀り、山野を開拓し、造林を企畫し、又養蠶を奨励し、牧畜養鶏を勧誘して農家の副業を奨励する等、農事諸般の施設に幹旋し、其功勞顯著なるものとす。

大 石 琢 磨 君

八女郡邊春村

資性温厚夙に心を勸業に用ひ、最も力を茶業の改善、養蠶の發達に致し、紅茶傳習所を起して海外輸出の途を開き、稚蠶共同飼育を設けて養蠶の普及を圖り、苗圃を設けて植樹を奨励し、道路を修築して交通を便ならしむる等、幹旋盡力に至らざるなく、其功績洵に顯著なり。

高 瀬 彌 十 郎 君

朝倉郡粟田村

資性篤實にして夙に心を殖産に傾け、最も力を蠶桑の發達に注ぎ、園藝畜産養魚等を奨励して、農家の副業に資し、或は農業教育の普及に勉め、造林を企畫し、道路を修築して交通を便にする等、氏の幹旋盡力によりて、農事諸般の發展に資せるもの實に尠しとせず、其の功勞顯著なり。

森 部 隆 造 君

朝倉郡福成村

資性温厚品行方正、夙に勸業に志厚く、耕地整理、排水事業等を企畫して土地利用に努め、溝渠を修築して灌漑の便を圖り、小作米品評會を開設して之れが改善に資し、斯業の發達に盡瘁する等、其功勞洵に顯著なり。

小 關 忠 平 君

田 川 郡 赤 村

資性剛毅夙に勸業に志厚く、荒蕪を開き、瘠田を改善して土地利用を圖り、畜産の繁殖を奨励し、果樹の栽培を勧誘して農家の福利を増進し、齡既に古稀に達したるも尙孜孜として農事諸般の改善に盡瘁する等、其功績顯著にして以て他の模範たるに足る。



阿 部 常 一 君



梅 本 芳 太 郎 君



黒 川 關 平 君



吉 椎 耕 夫 君

大 分 縣

七 一

大分縣

阿部 常一君

速見郡北杵築村

夙に各種の公職に従事し、明治廿八年北杵築村農會の組織を見るや、氏は其會長に當選し、翌廿九年には郡農會副會長となり、郡會議員、郡參事會員等の公職にありて最も農事に盡瘁し、其改良改善を圖る事に留意し、其功績甚だ大なり。明治三十六年には速見郡農會名譽會員に推選せられ、翌三十七年北杵築村信用組合の設立あるや、氏は其理事兼組合長となり、全卅九年速見郡郡會長に當選し、全四十年には北杵築村大字船部共有財産の維持法を規定し、共同殖林事業を擴張する爲め、船部區會を組織して之れが議員となり、今に在職せり。其他村内の風紀を改善し、村民に貯蓄を奨勵して、不時の用に供せしめし等、農村の爲めに盡せるの功績眞に數ふるに遑あらざるなり。

大分縣



山本泰雄君



佐藤直造君



麻生觀八君

黒川 關平君

南海部郡佐伯町

明治十一年大分師範學校卒業以來、各種の公職に従事し、全三十一年南海部郡名護屋村選出郡會議員に當選し、全三十四年佐伯町會議員に當選、爾來勤績し、全三十六年には縣會議員に當選し、全三十八年南海部郡農會長に當選し、農事の爲めに盡瘁する事深く、全四十一年には郡會議長に當選、引續き其職にあり、全四十一年八月には大分縣畜産調査會委員を囑托せらる。斯く幾多の公職に選出せらるゝもの一に氏の事に當りて熱誠勤勉にして、郷人間の名望大なるによらずんばあらざるなり。

勳七等 中島 竹藏君

日田郡西有田村

資性敏活誠實にして向上心に富み、勤儉を重んず。明治三十三年西有田村長となり、勤績十六ヶ年餘の長きに涉りて村務に執掌し、蠶業を奨励し、稚蠶共同飼育所

梅木 芳太郎君

下毛郡三郷村

を設置し、村内字札町より池部々落及三芳村を経て隈町に通ずる道路開鑿の必要を認めて、百方苦辛の結果、明治四十一年全く其目的を達せり。村長の傍ら村農會長となり、産業の改良發達に盡瘁する所甚だ多く、明治三十八年には農事視察として山口熊本二縣に出張し、全四十一年には教育視察として岡山兵庫の二縣に出張し、其見聞に依りて得たる所を參酌して、之を村内に應用し、好結果を挙げ得たり。其教育を奨励し、貯蓄を奨め、斯界に盡くせるの功績甚だ大なり。明治三十九年大日本農會總裁宮殿下より賞狀を賜はり、又全年日露戰爭當時の功勞に依り、勳七等青色桐葉章及金五十圓の下賜ありたり。

明治二十年下毛郡大野村外十六村勸業委員たりしより以來、現今に至り縣郡村各階級農會の役員、代表者、會長等となり、農事上力を盡くす所甚だ大なり。曩には農商務省通信員となり、又縣の勸業諮問會員となり、地方森林會議員たり。常に農作上肥料の改善を唱導し、恒藤農學博士の土壤調査磷酸肥料必要の主張ありしを

聞き、益々其緊要なるを察し、有志と謀りて肥料會社を門司に起し、大に其販路を求めたるも、當時の農家未だ磷酸肥料の効用を認めず、從て需用者甚だ尠なく、損失を蒙りし事大なりし、是獨り氏の會社のみならず、海内の肥料會社比々皆然らざるはなかりき。斯る逆境時代にありて、氏は全志より縣會議員に推されて、當選以來八閱年、其間縣參事會員として縣政に參與せし事多く、爲めに公務繁忙にして肥料會社の業務を見る事能はざるに至れり。然れども氏は各農會の要部に在るを以て常に磷酸肥料の必要なるを説いて止まず、漸次農家をして、其効果の偉大なるを知らしむるに至れり。

氏は天下山水絶勝の名ある耶馬溪の人、資性温良にして文雅の樂あり、故に年々名勝舊蹟を遊覽し、以て精粹の氣を養ひ、併せて實業諸般の事狀を觀察し、依て以て勸業獎勵の資となせり。

古 推 捐 夫 君

宇佐郡西川村

氏は始め教育界に入りて多年専ら育英の事に盡瘁せられたれど、明治十九年よ

り實業界に入りて農事に勵精甚だ厚く、即ち明治二十年宇佐郡蠶糸業取締に推選せられ、全二十四年西川村長に當選し、全二十八年郡農會名譽幹事に推選せられ、後全三十九年郡農會副會長に推選せらる、其他各榮職に就きて令名あり、氏の事に當るや勵精熱心、入りては自家農蠶の改善を圖り、出ては郡内諸般の農事を督勵し、米麥等の普通農事は勿論、副産として養蠶藥物類及桐、杉、檜、樟、栽培をなし、勤儉貯蓄の美風を養成せんが爲めには、自ら實踐躬行以て其範を示し、衆庶の信用甚だ厚し、故に普通農事の外、山中共立銀行及び四日市銀行の監查役たり、猶ほ推されて郡農會議長たり、以て其人となりの一般を察知すべきなり。

佐 藤 孫 三 郎 君

直入郡白丹村

明治十三年以來村會議員全議長、白丹村長、郡會議員全議長、參事會員、縣會議員、其他の榮職に就き、専ら農村の爲めに盡力する事深く、私費を投じて道路の開鑿をなし、田畑の開墾せるもの數十餘町歩、牛馬の改良等に最も力を用ひ、明治二十七八年より磷肥使用の獎勵に努め、當初全村に普及せざるを遺憾とし、全三十四年に至り

大分縣廳に技師派遣田畑地質の調査を請ひて土質適應の肥料共同購入を執行せしめ、自來其成績甚だ見るべきものあり、又、共有私有山林の増殖を奨励し、教育費の資出をなし、村内風紀の改善を圖り、且つ勤儉貯蓄の美風を養成せる等、其功績見るべきもの尠からず、其功に依り賞金金圓等の寄贈を受けたる事甚だ多く、近く明治四十二年十二月一日大日本農會總裁宮殿下より、農事改良及奨励實行の成績顯著なるの故を以て名譽賞狀を賜はり表彰せられたり。

山本 恭雄君

北海道郡白杵町

資性温厚篤實にして聲望あり、常に心を公益に注ぎ、勸業に教育に至誠以て盡瘁する所甚だ多し。明治十七年四月大分縣第一試驗場の養蠶傳習生となり、修業の後専ら養蠶業に従來し、明治二十五年四月北海道郡蠶絲業組合長に推され、同年六月北海道郡茶業組合長に選ばれ、孜々として其職に盡し、二十九年三月蠶繅株式會社取締役社長となり、二十八年北海道郡農會長に擧げられ、今日に至れり。近來に至りて次第に多くの公職に就き、郡會議員、議長、白杵銀行取締役、株式會社二十三銀行

監査役、北海道郡産牛馬組合組長、大分縣農會評議員、白杵電氣株式會社長其他多くの榮職にありて盡力するところ多く、其功績洵に顯著なるものあり、蓋し君の如きも亦大に推稱すべきの人なり。

佐藤 直造君

西國東郡中直玉村

資性温厚篤實にして勸業に盡瘁する事多年、明治十四年林業の有益なるを認め、松、杉、樟、檜等各種苗を培養し、年々造林を奨励し、一般地方人に殖林の有益なるを知らしめ、殖林事業に従事する者目下三十餘人七十町歩餘に及べり。其他農家の副業として荒筵製造を奨励し、全卅三年以來米質俵裝作毛共同苗代蘭草荒筵等改良の目的を以て、毎年三百餘圓を投じて九種品評會と云ふを開催し、其改善を圖り、道路を改修して交通の便益を圖り、土地を開墾し、排水、耕地整理等を卒先稱道し、衛生の重んずべきを村民に知らしめ、自ら其施設に對し相當の寄附をなし、各種救恤事業として金圓を寄附せる事甚だ多く、各種公職としては縣會議員、郡會議員、郡農會名譽會員、郡農會長、副會長、郡參事會員、地方森林會議員、村農會長其他多くの榮職に

從事せられ、各種共進會、品評會等に自家農産品を出品して賞を受けたる事甚だ多く、其功績の多大なる實に擧げて數ふべからざるなり。故に多くの賞狀、賞杯等を受け、縣農會、郡農會の表彰するところとなる。實に氏の如きは農家の模範として推稱するに足る。



大坪鐵五郎君



森太一君



川崎伊吉君



本多嘉兵衛君



山邊濱雄君

佐賀縣

七三